

北の蹄跡

December 2014



267,512人のにぎわい



4万6000人を超える観衆でにぎわった札幌記念当日。競馬という枠を超えたレジャー施設となった



開幕初日は、ファン代表の家族を交えてテープカットを行った



小雨降る中、大勢のファンが歓声を送った

2014年7月26日。約1年10ヶ月の改築工事を終えた札幌競馬場がグランドオープンを迎えた。

この日は、開門前から、この日を待ちわびた30人の徹夜組含む、約3300人が列をつくった。そのため、予定時間を30分以上繰り上げての開門となった。

オープンに先駆けての除幕式では、河原太一場長や新人の井上敏樹騎手、小崎綾也騎手が、ファン代表の家族とともに、華々しく開幕を祝った。

この日の来場者数は一昨年比174・7%となる1万6798人で、場内発売金も同135・9%の2億4136万2400円を記録。

日曜日は天気もやや回復したことから、グランドオープンを迎えた札幌競馬の開幕週2日間はトータルで101億4275万5300円を売り上げ、同約125%超を記録する幸先のよいスタートを切った。

CONTENTS

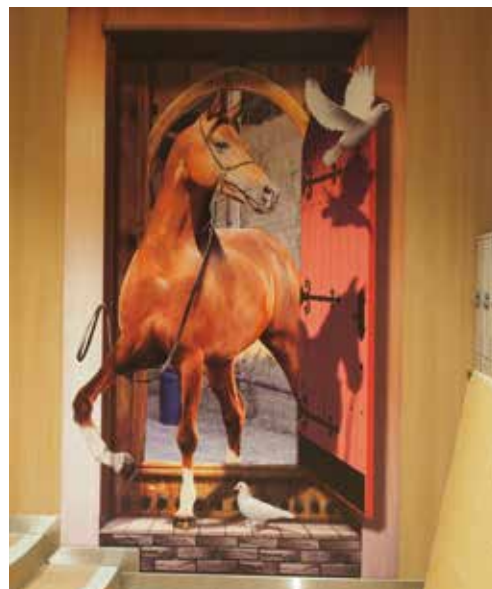
札幌競馬が2年ぶりに華々しくオープン	2
ごあいさつ 日本中央競馬会理事長 後藤正幸	4
2014年札幌開催回顧	5
コラム ワールドウォッチング② 「フランケルフィーバー 赤道を越える」 合田直弘	10
コラム「凱旋門賞と騎手問題」 野元賢一	12
コラム「来年こそその凱旋門賞」 石川ワタル	14
委員会だより	16
札幌競馬場で馬場調査を実施／人馬の安全を祈り馬場浄め式開催 ゴルフコンペ「愛馬会」開催／岩本允名誉会長、当協会がJRA 功労者表彰を受賞／札幌競馬場スタンド竣工記念タンブラーを贈呈	
中央競馬馬主社会福祉財団助成金目録贈呈式	18
札幌競馬場新スタンド竣工を祝う会が開催	19
新スタンド竣工記念「会員懇親会」を開催	20
道営ホッカイドウ競馬だより	21
新任ごあいさつ 札幌競馬場場長 植田克己	22
2015年JRA開催日程決まる	23
会員広場 岡田牧雄さん 「スノードラゴンが教えてくれたもの」	26
会員談話室 武田修さん 「新しい札幌競馬場 そして、夢」	27
News & Topics ケーブブランコを導入／各種せり結果	28
札幌馬主協会会員勝馬紹介 WINNERS	35
JRA土川理事長に要望書を提出	42
会員の異動／編集後記など	43



2年ぶりの札幌開催にスタンドは盛り上がりを見せた



キッズランドは連日、満員御礼



馬をモチーフにしたトリックアートも人気のスポットになった



協会が寄贈した花々が競馬場を彩った

ごあいさつ

日本中央競馬会理事長
後藤正幸



札幌馬主協会の会員の皆様におかれましては、日頃より中央競馬の運営に格段のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。このたび9月12日付で日本中央競馬会理事長に就任いたしました後藤でございます。JRAの舵取り役である理事長の職責の重さをひしひしと感じているところです。

本年度の中央競馬は、JRAの創立60周年事業を中心とした様々な施策の展開等により、入場人員・発売金共に前年を上回り、比較的堅調な成績で推移しております。こうした状況の中、本年7月に札幌競馬場の新スタンドがグランドオープンし、大勢のお客様の注目を集め、大変な盛り上がりを見せましたことは記憶に新しいところです。この度のスタンド改築におきまして、札幌馬主協会の皆様から多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに対し、この誌面をお借りして改めて御礼申し上げます。

現時点における中央競馬の業績は回復基調にあるものの、不安定な国際経済の動向や今後の日本社会の大きな課題とされている少子高齢化に伴う総人口減少等から、先行きは必ずしも楽観視できるものではありません。JRAといたしましては、馬主・生産者の皆様をはじめ幅広い意見に耳を傾けながら、これまで以上に中央競馬の発展に全力を尽くしてまいる所存ですので、今後とも引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、札幌馬主協会の益々のご発展及び会員の皆様のご健勝並びに愛馬のご活躍を祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

2014年札幌開催回顧

札幌競馬開催成績



開幕を待ちわびたファンの方々



パドックから本馬場へと向かう「はなみち」は新しいスポットになった



開幕日第2競走。会員愛馬が幸先よい勝利を飾った



2年ぶりの札幌開催は、連日大勢のファンでにぎわいを見せた



開門直後にもかかわらず大勢の観客でにぎわう「もいわテラス」

	天気	出走頭数	一昨年比	入場人員	一昨年比	売上	一昨年比	
第1回札幌競馬	1日	曇時々雨	149	103.5%	16,798	174.7%	4,016,000,100	112.8%
	2日	晴後曇後雨	142	97.3%	15,534	115.0%	6,126,755,200	137.1%
	3日	晴	145	101.4%	13,382	161.1%	3,969,386,700	105.3%
	4日	晴	153	101.3%	22,805	156.4%	7,083,203,200	94.9%
	5日	晴	158	106.8%	12,024	147.6%	4,005,482,000	106.7%
	6日	晴後曇	152	98.1%	13,228	128.6%	4,604,521,500	106.0%
	7日	晴	163	110.9%	15,538	212.8%	4,416,285,700	118.9%
	8日	晴	162	116.5%	16,566	150.7%	5,338,777,800	135.3%
	8日合計		1224	104.3%	125,875	152.1%	39,560,412,200	113.0%
第2回札幌競馬	1日	晴	154	98.1%	12,225	130.5%	4,101,726,900	107.2%
	2日	曇後晴	158	104.6%	46,097	137.3%	10,328,135,600	133.4%
	3日	晴	137	93.8%	13,843	123.8%	3,912,737,300	78.1%
	4日	晴	148	94.9%	19,044	137.8%	7,267,451,900	110.4%
	5日	晴	170	101.2%	18,160	124.6%	4,991,291,300	100.8%
	6日	晴	169	103.0%	32,268	175.4%	4,949,374,200	109.4%
	6日合計		936	99.4%	141,637	140.4%	35,550,717,200	108.9%
14日合計		2160	102.1%	267,512	145.7%	75,111,129,400	111.0%	

**入場者、売上ともに
一昨年を大きく上回る**

多くのファンが待ちわびた2014年度札幌開催。7月26日から9月7日までの2開催14日間で全168競走が施行され、入場人員数は2開催平均で一昨年対比145%超を記録。とくに4頭のGI勝馬が顔を揃えた札幌記念当日は、札幌競馬場史上3番目となる4万6097人が足を運ぶなど、2開催トータルで26万7512人（一昨年比145・7%）の来場者があった。一方、売り上げも14日間で751億1112万円9400円を記録し、一昨年比111%となり活気あふれる札幌開催となった。こうしたにぎわいに後押しされるように、札幌馬主協会会員の所有馬たちは大活躍し、29・7%の勝率を記録。一昨を上回る全50勝を記録した。

開幕週に6勝の固め打ち

口火を切ったのは、まだ開幕の興奮冷めやらぬ開幕日の第2競走ダート1000メートル未勝利戦。ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン所有のコロナボレアリス（牡3歳、栗東・西浦勝一厩舎）が、デビュー2戦目で大きな変わり身を見せて、うれしい初勝利となった。続く第4競走ダート1700メートル未勝利戦でも日進牧場所有のジュガンテイヤー（牡3歳、

美浦・杉浦宏昭厩舎)が1番人気に広がる快走をみせ、第8競走の3歳以上500万下競走芝1200m戦では玉腰勇吉氏所有のプリンセススモーン(牝4歳、栗東・安田隆行厩舎)が好位追走からゴールまでしっかりと脚を伸ばして優勝。このクラス2連勝で通算3勝目を記録した。開幕日に3勝を記録した当協会会員所有馬は、続く日曜日も3勝をあげて開幕週に6勝を記録。幸先のよいスタートをきった。

連日にぎわいを見せた ビュッフェエリア

札幌競馬場新スタンドの大きな特徴は、4階馬主エリアにおいてビュッフェスタイルで競馬を楽しめるということ。

JRA全10競馬場で初めての試みだったが、2開催14日間すべてで1000人を超える人の利用があった。開催当初、ビュッフェ席は178席(馬主役員エリア96席、馬主エリア82席)が用意されたが、想定を超える来場者でエリアは埋められ、途中、71席(馬主役員エリア41席、馬主エリア30席)を増設。最終的には249席(馬主役員エリア137席、馬主エリア112席)として対応にあたった。

担当役員は「すべての開催日で当初の予定を超えるご利用をいただき、大変喜ばしいことと御礼申し上げます。利用されるみなさまのご協力で大きなトラブル



開幕日第6競走。藤岡調教師300勝は、会員愛馬で飾った



4階馬主エリアからはパドックが見下ろせる



開幕週の特別競走を勝利で飾った会員愛馬



好評だったビュッフェ



ビュッフェも大盛況。想定を超える盛況ぶりで後半には席が増設された

馬主・役員席、ビュッフェ利用者数

	馬主席 利用者	役員席 利用者	合計	ビュッフェ 利用者	
第1回札幌競馬	7月26日	285	150	435	169
	27日	315	179	494	216
	8月2日	234	109	343	150
	3日	328	150	478	162
	9日	268	145	413	166
	10日	272	143	415	149
	16日	223	120	343	127
	17日	297	158	455	166
	小計	2222	1154	3376	1305
第2回札幌競馬	8月23日	253	149	402	158
	24日	579	325	904	229
	30日	240	97	337	106
	31日	354	164	518	169
	9月6日	437	296	733	212
	7日	499	253	752	208
小計	2362	1284	3646	1082	
合計	4584	2438	7022	2387	

なく開催を終えることができました。来年は、さらにスムーズにご利用いただけるように委員会等で話し合いを行ってきたい」と話している。

藤岡健一調教師が300勝達成

札幌競馬開幕の7月26日第6競走サラ3歳未勝利戦で、藤岡健一調教師(53歳Ⅱ当時)が管理するエイシンノーティス(牝3歳、馬主・栄進堂)が勝利し、同調教師は2002年11月23日の初出走から2859戦目で現役69人目の通算300勝を達成した。藤岡調教師は滋賀県出身。初勝利は03年5月24日新潟競馬7日目第5競走3歳未勝利戦(勝馬ボスプラス)で、この日までに09年の報知杯フィリーズレビュー(勝馬ワンカラット)など重賞8勝。同師は「こうした数字を残すことができたのはオーナーや牧場関係者、厩舎スタッフのおかげと思っています。さらに一歩ずつ、上を目指していきたい」と語った。

種牡馬キングカメハメハが JRA通算1000勝を記録

藤岡健一調教師の300勝記録となったエイシンノーティス(前出)の勝利は、父キングカメハメハにとってもJRA通算1000勝という区切りの勝利になった。キングカメハメハは、04年のJRA賞最優秀3歳牡馬。NHKマイ

ルC、日本ダービーを連続レコード勝ちするなど通算成績は8戦7勝。3歳秋に脚部不安を発症すると、内国産馬としては史上最高額（当時）となる21億円でシンジケートが組まれ、2005年から社台スタリオンステーションで種牡馬となっている。種牡馬として1000勝を記録したのは史上15頭目。産駒デビューから6年と3週間はサンデーサイレンスを抜いて史上最速の記録となった。

当協会会員所有馬は特別競走14勝

会員所有馬の重賞競走優勝はならなかったが、特別競走は14勝を記録。開幕週の羊ヶ丘特別ではサラブレッドクラブ・ラフィアン所有のマイネルメリエンダ（牡3歳、美浦・和田正一厩舎）が2番手追走から直線で楽に抜け出して優勝。3ヶ月半の休養明けを感じさせない強さを見せた。

14勝の内訳はサラブレッドクラブ・ラフィアンが3勝、社台レースホース、H・H・シエイク・モハメド氏がそれぞれ2勝ずつ。クラス別ではオープン特別が2勝で1000万下条件特別が9勝。500万下条件が3勝となっている。

勝浦正樹騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

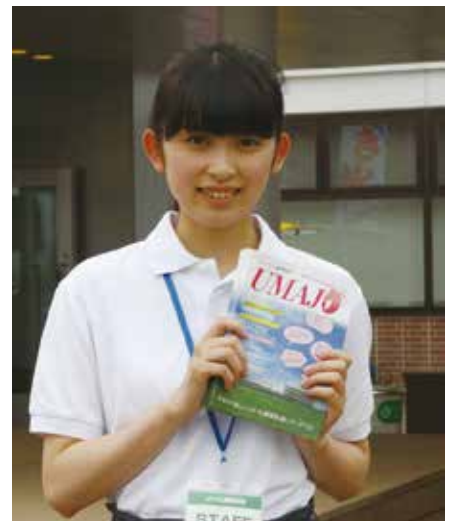
8月2日の第1回札幌競馬3日目の第8競走芝2600メートル戦で、3番人気ス



連日満席だった馬主エリア



ジョッキーベイブス北海道札幌地区予選。歓喜の先頭ゴールイン



UMAJOスタッフが競馬コンシェルジュとなって活躍した



参加者全員がゆるキャラと記念写真に納まった



北海道札幌地区代表となった鎌田彩緒さん。アドバイザーの岡部幸雄元騎手と

マッシュスマイル（セ6歳、馬主・社台レースホース）に騎乗した勝浦正樹騎手（35歳＝当時、美浦・フリー）は97年3月の初騎乗以来、17年5ヶ月でJRA通算1万1000回騎乗記録を達成した。史上26人目。現役では18人目の記録。記録達成当時、JRAで通算721勝。重賞は02年のNHKマイルカップ（勝馬テレグノシス）、07年の朝日杯フューチュリティステークス（勝馬ゴスホークケン）など13勝。

勝浦騎手は「与えられたチャンスに勝つことができなくて（7着）申し訳ありません。これほどまで多くの騎乗機会をいただいたことについては感謝の気持ちしかありません。これからも頑張りますので、応援よろしくお願いします」と語っている。

ジョッキーベイブス北海道札幌地区予選を開催

8月9日、全国ポニー競馬選手権「第6回ジョッキーベイブス」の北海道札幌地区予選が最終レース終了後の本馬場、芝300メートルで行われ、事前に行われた乗馬の騎乗技術審査で上位の成績を収めた小学校6年生から中学校1年生までの4名が出場。大勢の観衆が見守るなか、日頃の練習の成果を発揮した。

レースでは、激しいつば競り合いをみるような形でレースを進めた新ひだか町の鎌田彩緒さん（12歳・中学1年）が

ゴール寸前で鋭く追い込んで優勝。10月12日に東京競馬場で行なわれた全国ポニー競馬選手権決勝大会に出場した。

本協会会員所有馬が 2歳オーブン戦を快勝

8月16日の第1回札幌競馬7日目第10競走「コスモス賞」をサラブレッドクラブ・ラフィアン所有のマイネルサクセサー（牡2歳、美浦・畠山重則厩舎）が勝利して、来年のクラシックへ弾みをつけた。前走、函館競馬芝1800メートル未勝利戦でレコードタイムを記録した同馬は、この日、好ダッシュを見せるも好位のインに抑えて、前を行く馬たちを射程圏内にとらえながら追走。徐々にポジションをあげて直線ではインコースから力強く伸びて1番人気に応えた。柴山雄一騎手は「騎乗者の指示にしっかりと応えてくれましたし、最後はうまく前が空いてくれました。馬体重が増えていた（プラス14キロ）ように、まだ成長途上。来年が楽しみです」と話している。

中川公成調教師が JRA通算100勝を記録

8月23日、第2回札幌競馬初日の第12競走「支笏湖特別」で中川公成調教師（52歳当時、美浦）が管理するゴールドアクター（牡3歳、馬主・居城要氏＝当協会会員）が勝利して、中川調教師は、2006年1月29日の初出走以来、



テラス席で、さわやかな涼夏の気候と競馬を満喫



開幕を飾ったアンダルシアン演技



札幌競馬場で行った引退式以来のドリームジャーニー。大人になった姿にファンは釘づけ



競馬場のアイドルポニーが来場者をお出迎え



当協会が寄贈した時計塔「Take the Saddle」が見守る中、にぎわいを見せたテラス席

JRA通算100勝を記録した。同調教師は高知県出身。1989年、競馬学校厩務員過程を卒業し、美浦の藤沢和雄調教師のもとで厩務員からスタート。05年に調教師免許を取得し、通算1841戦目で、現役153人目となるJRA通算100勝となった。

同師は「記録がかかっていることはわかっていました。ここまでこれたのも、オーナーをはじめ関係者、スタッフのおかげ。これからも一つ一つ一生懸命頑張っていきたいと思います」と話している。

ドリームジャーニーが来場

8月30日、第2回札幌競馬3日目の最終レース終了後、本場パドックで2006年のJRA賞最優秀2歳牡馬で、09年の最優秀4歳以上牡馬ドリームジャーニー（牡10歳）がお披露目された。同馬が札幌競馬場のパドックを周回したのは2011年の引退式以来のこと。ドリームジャーニーは、父ステイゴールド、母オリエンタルアート（母の父メジロマックイーン）という血統。通算成績は31戦9勝（重賞7勝）。現役生活を引退後、現在は安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬生活を送っており、初年度産駒は来春にデビュー予定。

キーンランドC交歓会

米国のサラブレッド生産の中心地であるケンタッキー州レキシントンにあるキーンランド協会との交換競走となるキーンランドカップが行われた8月31日当日、札幌競馬場来賓室にて日米の交歓会が開催された。

キーンランド協会からはロジャース・ビーズリー競走担当副社長と、在札幌米国総領事館ジョエレン・ゴーク首席領事が来場。JRA日本中央競馬会からは第2回札幌競馬の開催委員長を務める小林善一郎理事や国際部の横山雄高国際総務課長補佐、札幌競馬場の河原太一場長、柏田秀治副場長や函館馬主協会の庄野昭彦会長、当札幌馬主協会の下河辺俊行会長、宮永雅己副会長、藤原悟郎副会長、浅沼廣幸常任監事らが出席。河原場長は「本日は、開放感あふれる札幌競馬場の新スタンドで十分に競馬をお楽しみいただき、また両国の交換競走を通じてキーンランド協会とJRAの関係が深まり、両国の競馬と馬産がよりいっそう発展することを祈願します」とあいさつ。続いて、当協会の下河辺俊行会長が乾杯の音頭をとって、友好と親善を祈願して祝杯をあげた。

ジャングルポケット来場

9月6日、第2回札幌競馬5日目の最



キーンランド協会のロジャース・ビーズリー競走担当副社長を囲んだ交歓会。友好と親善を深めた



キーンランドCのゲストは、JRA-VANのイメージキャラクターも務める眞鍋かをりさん



2014年度札幌開催リーディングジョッキーは福永祐一騎手。騎乗した全8日間で勝利を記録した



札幌競馬場でデビューし、ダービー馬となったジャングルポケット。若々しい姿をアピールした



クイーンCでプレゼンターを務めた小島瑠璃子さん。優勝した福永祐一騎手と

終レース終了後、2001年の年度代表馬ジャングルポケット(牡16歳)の展示会がパドックで行われた。同馬は父トニービン、母ダンスチャーマー(母の父ヌレイエフ)という血統。2000年に札幌競馬場でデビュー。新馬、札幌3歳Sを連勝して、翌年は日本ダービーとジャパンカップを制して年度代表馬に選出されている。日本ダービーとジャパンカップを同一年に制したのは現在まで同馬だけ。現役生活は13戦5勝(重賞4勝)。2003年から社台スタリオンステーションで種牡馬となり、産駒デビューの2006年から9年連続でJRA重賞勝馬を送り出している(継続中)。

札幌リーディングジョッキーは福永祐一騎手

14日間の激闘を終えて、もつとも多くの勝利数をつかみ取ったのは福永祐一騎手(37歳IIフリー)だった。第1回札幌競馬2日目からの参戦となった同騎手だったが、その日の第7競走で今季初勝利(勝馬グランデアモーレ)を飾ると、札幌競馬で騎乗した8日間すべてで勝利を記録。計20勝で初の札幌リーディングジョッキーとなった。福永騎手は小倉(2000~02年、10年)、新潟(11年)、中京(12、13年)でも夏季の開催リーディングジョッキーになっており5年連続8回目の受賞。



フランケルファイバー 赤道を越える

競走馬流通を変えるかもしれない1頭の種牡馬

11月から12月にかけて、北半球の馬産国では繁殖牝馬や現役上りの牝馬、そしてその年の春に誕生した当歳馬がマーケットに流通する季節を迎える。前記した複数のカテゴリーの馬たちが1つのセール（11つのカタログ）に混在するために、ブリーディングストックセールという看板を掲げているが、実質はミックスマールという形式に開かれるのが、ファシグティプトン、キーンランドらが主催する北米のマーケットである。

一方、その年の春に生まれた当歳馬のみが上場される「フォール・セッション」を独立させているのが、愛国のゴフス社と、英国のタタソールズ社が主催する欧州マーケットだ。良駒の多くが当歳時に売買される日本と異なり、欧州では1歳時に流通するのが主流であるがゆえ、一般論として「フォール・セッション」はマーケットとしてはそれほど重きをなしていない。つまりはそれが、競馬発祥の地・英国をはじめとした欧米各国における慣習なのだが、実は今年は、そんな長年の流れを覆すようなことが欧州の当歳馬市場で起こりつつある。

11月17日から20日まで「フォール・セッション」を開催したゴフス社、同じく11月26日から29日までの日程で市場を開催したタタソールズ社ともに、それぞれ上場馬が出揃った時、いつもの年ならば牝馬セッションの「添え物」のように扱われる当歳セッションが、今年はいよ

いよ上場馬決定!!と、牝馬セッションに勝るとも劣らぬほどクローズアップされ、メディアも大々的に書きたてることになったのである。

初年度産駒が生まれる前から始まった争奪戦

話題の中心にいたのは、フランケルの初年度産駒だった。10年から12年の3シーズンにわたって走り、14戦14勝の成績を残した同馬の現役生活については、今さら申し述べることもあるまい。レイディング140を獲得し「史上最強馬」の名をほしいままにしたフランケルは、13年春にニューマーケット近郊のバンステッドマナースタッドで種牡馬入りし、14年春に初年度産駒が誕生している。筆者は引退後のフランケルを



海外競馬解説者

合田直弘

【著者略歴】
1959年 東京都出身。海外競馬評論家

慶応大学卒業後、テレビ東京に入社。「土曜競馬中継」「馬・疾風ロマン」などの製作を担当。のち、1988年に同社を退社し、(有)リージェントを設立。テレビ、新聞、ラジオ、雑誌などで海外競馬の解説を行っている。現在、NHK衛星放送「世界の競馬」グリーンチャンネル「ホースステーション」「ライドオン22」「海外競馬ジャーナル」などに出演。

見る機会に何度か恵まれているが、ひと言で言えば太陽よりも眩しい強烈なオーラに包まれた、これは只ならぬ競走馬であつたはずと誰もが瞬時に得心させられる、独特の雰囲気を持った馬である。そして、そんなフランケルには今後しばらく、欧州のみならず世界の競走馬市場を牽引する役割を果すことが期待されている。

実際に昨年終盤、タタソールズ・ディセンバー牝馬市場にフランケルを受胎して上場された11年の英国オークスマダシングレインが、400万ギニー（当時のレートで約7億0375万円）でシェイク・モハメドに購買されたり、ファシグティプトン・ノヴェンバーセールに同じくフランケルを受胎して上場されたG

IスピンスターS勝ち馬インランジェリーが、240万ドル（約2億3666万円）で社台ファームに購買されたりと、産駒が誕生する前からマーケットに大きなインパクトを与えていたのがフランケルだった。そして今年6月にロンドンセールに登場した、公開の市場に出た初めてのフランケル産駒となった生後3カ月の当歳牝馬が、母クリスタルゲイズともども1億15万ギニー（約1億9904万円）で購買され、今年7月のJRH Aセレクトセールに登場した父フランケル・母グッドウッドマーチの当歳牝馬が9600万円で購買されるなど、早くも各地で大きな反響を巻き起こしている。

注目の初年度産駒は 100頭超

生まれた当初は大きさや体形にバラつきが見られ、母馬の影響を色濃く投影するタイプの種牡馬かと囁かれた時期もあったが、生まれて半年近くが経つと骨量豊かでボリューム感のある馬体に成長し、父の面影を容易に汲みとれる仔が多くなっていると言われている。そんなフランケルの初年度産駒が、初めて

本格的に市場に出廻ったのが、ゴフスやタタソールズのフォー・セツションだったのだ。ゴフスには、G I・3勝馬フィンスケールビオの5番仔となる牝馬をはじめ6頭、タタソールズには、G Iフリーズマイル勝ち馬レッドブルームの7番仔となる牝馬をはじめ4頭のフランケル産駒が上場を予定しており、果してマーケットは彼らにどんな評価を下すか、世界の競馬関係者が固唾を飲んで見守ることになった。

供用初年度の13年に、フランケルは133頭の牝馬と交配。昨年度の段階で、このうち125頭の受胎が確認され94%という高い受胎率を記録し

ている。更にフランケルは13年秋、南半球の繁殖シーズンに合わせて21頭の牝馬に交配を行なっている。14年の生産統計は現時点で詳らかにっていないが、無事に生まれて競走馬として血統登録される14年生まれのフランケル産駒は、110頭から120頭の間と見込まれている。

大西洋をまたにかけた 争奪戦

現段階で最も多くのフランケル産駒を保有するのは、同馬のオーナーブリーダーであり現在の繋養先でもある、ジャドモントファームスであることは言うまでもない。実は、そのジャドモント以外に、初年度産駒のほぼ1割にあたる11頭のフランケル産駒をコレクションしている生産組織があることが判明し、大きな話題となっている。しかもそれが、北米ケンタッキーの生産牧場であったことが、二重の驚きを呼んでいるのだ。

昨年10月、ケンタッキー州レキシントンの馬産地に417エーカーの敷地を持つヴァイネリースタッドが、推定金額1382万ドル（およそ

13億5200万円）で南米チリの資本に買収されるというニュースが流れたのを、ご記憶の関係者も多いと思う。ヴァイネリースタッドを買収し、名をドン・アルベルト牧場と改めて営んでいるチリ人オーナーのカルロ・ヘラー・ソラリ氏こそ、11頭のフランケル産駒を有する人物であった。

酪農を中心とした大規模農業で経済基盤を築き、その後に参加した運送、通信機器の製造販売、浄水場の建設と運営、不動産、ワイン製造、病院経営、ヘルスケアといった事業でことごとく成功を収め、チリ随一の企業体となった「ベシア・ホールディング社」の総帥がカルロ・ヘラー・ソラリ氏である。新たな牧場名となったドン・アルベルトとは、ソラリ氏の母リリアーナさんの父で、ファミリアにあつて最初に馬産をスタートさせた人物の名であるという。ちなみに本業の名称にあるベシアとは、ファミリアにとつて最初の活躍馬となった1987年のG Iミルギニーズ勝ち馬ベシアから命名したものであつた。



14戦14勝のフランケル。写真は6馬身差で勝利した英国2000ギニーのレース後

赤道を越えた フランケル・ファミリー

チリにあるドン・アルベルト牧場には現在300頭の繁殖牝馬がいる他、北半球との種牡馬のシャトルにも熱心で、近年はクールモアと提携して、ロックオブジブラルタル、マスタークラフツマン、ヘンリーザナヴィゲイター、ホーリーローマンエンペラーといった種牡馬を繋養している。所有する現役馬の数も300を超えており、このうち1頭が10月31日にサンタアニタで行われるG I B C ダートマイルに出走予定の自家

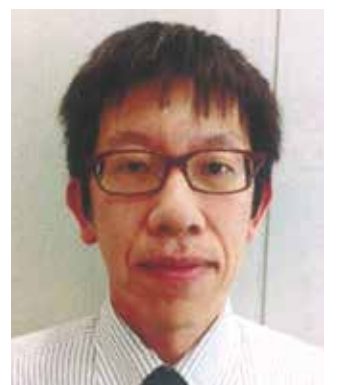
生産馬プロンゾ（牡5、父フサイチペガサス）である。ヴァイネリー買収後、13年秋に北米で開催された市場で1359万ドルを投じ37頭を購入したソラリ氏は、続いてタタソールズ・ディセンバーセールでも177万ギニーを投じて6頭の牝馬を購入。このうちの1頭が、当時フランケルを受胎していたG III・2勝馬クリザンテマム（購買価格80万ギニー＝約1億4075万円）で、今年1月11日にフランケル産駒としては最初に誕生した母クリサンテタムの牡馬もソラリ氏の所有馬なのであつた。

その後、ソラリ氏は南半球のシーズンに合わせてフランケルを交配された繁殖牝馬をブライヴェートで次々に購入。8月以降に生まれた10頭を含む11頭のフランケル産駒を保有するに至ったのである。

南半球の大資本も巻き込んでの争奪戦になっているフランケルの子供たちが、競馬場で果してどんなパフォーマンスを見せるか。早ければ16年春を迎える産駒のデビューには、全世界の競馬関係者とファンが注目することになりそうだ。



凱旋門賞と 騎手問題



日本経済新聞社運動部

野元賢一

【著者略歴】

1964年1月
東京都出身

1987年4月
毎日新聞社入社。長野支局を経て運動部で競馬のほか、プロ野球、サッカーなどを担当。

1996年8月
日本経済新聞社に移籍。運動部で競馬を担当し現在に至る。

「騎手はダンシングブレーヴの幽霊に乗っていると思ったのでは」。仏・ロンシャンで10月5日行われた第93回凱旋門賞（G I・芝2400m）。結果はト

レヴが鮮やかな復活で36年ぶりの連覇を達成した。日本からは史上初めて、1度に3頭が参戦したが、日本流に言えば、1頭も着順掲示板にさえ入れなかった。昨年が完敗ならば、今回は惨敗と言っても過言ではない。

冒頭のコメントは、海外のある競馬ファンが、レースが終わる頃に猛然と追い込んで6着となったハープスター（川田将雅騎手）の騎乗を皮肉った海外の競馬ファンのツイートである。ダンシングブレーヴと言えば、

1984年の凱旋門賞で伝説的な追い込みを決め、当時のレーティング140は、近年

に見直されるまで、長く世界最高とされていた。そんな名馬の名前が出るのだから、よほど驚いた、いや呆れたのだろう。トレヴを初め、好位で運んだ馬が上位を占めた中、人馬とも馬群に突っ込む準備ができていなかったのだ。

勝利のため 最大の努力を

1頭1頭には脚質があり、騎手が力づくで変えるのは難しく、また変えたことが災いする場合も多い。ハープスターも国内で同じレース運びを繰り返して、阪神JF、オークスという重要なタイトルを2つも逸している。こうした戦い方は騎手だけの問題とは言い切れず、騎手だけに今回の敗因を帰するのはフェアではない。だが、今回

のトレヴのテイエリー・ジャルネ騎手は、多頭数と緩い流れを讀んで、前回のヴェルメイユ賞4着時とは対照的な先行策に出て結果を出した。こうした外国人騎手の一発芸的な脚質転換の例を何度も見えてきた立場からすると、騎手のレベル差も考えずにはいられない。

今回、日本から出走した3頭は、いずれも主戦騎手を変えずに臨んだ。一昨年と昨年、サンデーレーシング所有のオルフェーヴルが地元の名手、クリストフ・スミヨン騎乗だったのとは対照的だ。サンデーレーシングと同じノーザンファーム系のキャロット所有であるハープスターが、川田騎手のままで出走したのは少し意外だった。「日本人のチームで優勝を」という大義名分を出されると、な

かなか反論しにくい。だが、馬と騎手の立場を分けて考えれば、別な景色が見えては来ないか？ 93回の凱旋門賞はすべて、欧州の馬が制している。心底、凱旋門賞を勝ちたいと思う騎手は、欧州に根を下ろし、現地の馬主や調教師の信望を得て、一流馬を任せられる方が、遠回りに見えてはるかに近道だろう。日本から有力馬が出て

に置いても、経験値で言えば、平素、欧州で乗っている騎手の方が優位に決まっている。

高額賞金もたらすねじれ

日本の競馬は06年に国際セリ名簿基準委員会（ICSC）のパートI国入りを果たし、先進国に仲間入りした。原動力は言うまでもなく、世界一の馬券の売り上げであり、潤沢な資金を競走馬の資質向上にきちんと投資した結果である。だが、馬を扱う人のレベルは、カネの力だけで一朝一夕には追いつけない。実際、騎手だけを見ても、欧州や米国の主要サーキットに定着できた日本人はいない。全盛期の武豊騎手でも、海外では思うような結果を出したとは言い難い。逆に、欧州から短期免

許で来日して荒稼ぎする外国人騎手は1人2人ではない。特に、欧州の中でも一段落ちると

され、近年は危機的状況にあるイタリアの騎手が、次々に日本を訪れて成功を収めている。

今秋のスポーツ界で話題をさらったのは、テニスの全米オープンで日本選手として史上初めて決勝に進んだ錦織圭選手の活躍だった。錦織はその後の2大会を連勝し、世界ランク6位まで浮上した。ゴルフの松山英樹選手も世界最高峰のPGAツアー初参戦となった13-14シーズンに初勝利を挙げ、ランキング上位30人のみが出場できるツアーチャンピオンシップ参戦を果たすなど、大きな成果を上げた。ピラミッド型の体系が確立された世界で、腕に覚えのある者は1カ所に集約されていく。だが、世界一決定戦が存在しないのが競馬というスポーツの立きどころだ。賞金とプレーヤーの水準の間のねじれは、そこかしこに発見できる。凱旋門賞を勝ちたければ、騎手は欧州を目指すべきと書いたが、JRAの世界一の賞金水準を捨てて欧州に進む騎手が出るのは、現実的な話ではない。

一流ジョッキーの参入がもたらすもの

このままでは同じことが繰り返されると思っていたら、10月16日になって一石を投じるようなニュースが飛び込んできた。

来年度の騎手免許試験で、ミルコ・デムーロ(35)、クリストフ・ルメール(35)の両騎手が、1次試験(筆記)に合格したのである。筆記試験は1日に行われ、終了後にスーツ姿で取材に応じた2人の顔からは、疲労の色がありありとかがえた。デムーロは前回の試験が不合格で、今回が2度目の挑戦。筆者もJRAの情報公開制度を利用して、前回の英語の問題を取り寄せ、その難しさに驚いた。デムーロは昨年の不合格のシヨックを打ち明け、ルメールも「うまくいかない部分もあった」と振り返った。英語が母語ではない2人であり、結果については半信半疑だった。両方も合格したのは筆者にとっても意外だった。

この後は来年1月末に日本語の口頭試験があり、結果はまだ予断を許さないが、2人がJRA騎手として再出発する

となれば、インパクトは計り知れない。年齢的に、あと10年以上は一線でバリバリ働けるし、実績は申し分ない。最多勝負に加わってくるのは必至で、クラシックを視野に入れるような逸材と早い段階からコンビを組むことも可能になる。武豊騎手の独り勝ち状況から混戦模様に転じた騎手界の戦力図が一気に書き換えられそうだ。

何しろ、デムーロは通算354勝でG10勝。ルメールは通算236勝でG15勝である。通年でいくつ勝てるかは、勝率を見れば見通しが立つが、デムーロは14・9%、ルメールは12・4%。今年のランキングに当てはめると、デムーロは5位相当、ルメールでも7位相当だから、両者とも年間100勝の大台に乗せる可能性が高い。

有力騎手が参入すれば当然、レースの質も上がることになる。馬券的な信頼度も高いから、売り上げ向上につながる可能性もある。一方で、ただでさえ活躍の機会が乏しくなっている若手騎手にとって、ますます環境が厳しくなることを危惧する向きもある。幸い、今年は新人

賞の基準となる年間31勝をクリアする騎手が複数出そうな勢いで、触発されるように2、3年

目の減量騎手も勝ち星を伸ばしている。だが、減量特典がなくなつてから苦戦する騎手も少なくない。地方であれ海外であれ、資質の高い騎手を迎えてレースの質を高めることは必要だが、競馬の持続可能性を考えれば、若手騎手も育成していく必要がある。実戦経験なしで、いきなり賞金が世界一高いサーキットに参入する日本の新人・若手騎手は、難しい立場に置かれている。

今回の凱旋門賞を無駄にしないために

レースの質と騎手の育成の兼ね合いは実に難しい問題で、筆者もすつきりした解決策を持ち合わせてはいない。ただ、現状を企業に例えれば、新卒一括採用制度がうまく作動せず、閉塞状況に陥っている感否めな。減量特典制度の枠を現在より広げるなど、ミクロレベルの策はあり得ても、根本的な処方にならない。関係者の抵抗は大きいと思われるが、成績に関係なく一律の進上金のあり方を初

め、考慮すべきテーマは少なからずある。

ともかく、大きな方向性として、様々な人材に門戸を開く流れが逆行するのは望ましくない。デムーロは今秋、日本ではなく香港で騎乗する。試験結果が悪かった場合を念頭に置いた決断だった。20歳の頃から毎年、来日し、日本の競馬に対する愛着も並外れている名手が、香港に流失するリスクがあったのだ。出来上がった騎手にペーパーテストを課することで、何を失いかねないか。機会費用を考える必要がある。また、昨年の試験では、オーストラリアで免許を取得した後、同国のほか、シンガポールや韓国で活躍した藤井勘一郎騎手(30)も受験していた。藤井騎手の場合、筆記試験に加えて基本馬術の実技まであった。体重の関係でJRAの競馬学校入学を断念した人である。厳しい環境に身を置いてきた人を迎え入れれば、JRAにとっても前向きな刺激になると思う。日本の馬は今や世界でも十分に戦えるが、人のレベルは追いついていないか? 凱旋門賞を再点検の契機としたい。

来年こそその凱旋門賞 ハープスターの再チャレンジに期待

今年もまた：
無念の日本勢

今年も日本の馬が凱旋門賞を勝つことはなかった。このところ毎年現地へ足を運んでいる身の上としては、そろそろ勝ってほしいところ。今年は期待の3頭が揃って着外に敗れ、虚しさ



凱旋門賞に狙いを絞って2連覇を達成したトレヴ

ばかりが募るパリの夕暮れとなった。

日本の馬は過去、凱旋門賞2着4回の成績を残している。99年のエルコンドルパサー、10年のナカヤマフェスタ、12、13年のオルフェーヴル。この3頭2着4回には、すべて3週前のフォワ賞（仏GⅡ）を使ってきたという共通点がある。これに対し、06年のディープリンパクトは前哨戦を使わず、宝塚記念以来の休み明けで臨み、3位入線に甘んじた（その後、禁止薬物検出で失格）。

凱旋門賞で好走するには、フランスの前哨戦を使うこと。これが王道であり、もう結論は出ていると思つたら、今年の3頭はすべて現地のステップレースを使わないという異端の臨戦過程だった。しかもジャスタウエ

イは50年以上も勝ち馬が出ていないという4か月もの休み明け。それでも日本の3頭のうち1頭か2頭、いやひよつとして3頭とも好走してくれると思つたが……。

ハープスターが見せた 大きな可能性

レース後、トレヴで2連覇を達成したT・ジャルネが「日本には凱旋門賞を勝つための戦略がなかった」と語り、これは日本でも大きく報道された。感じたことをありのままに述べたのだろう。日本の関係者はあまりにもナイーブ（無邪気）だということ。ほとんど平坦でスピード競馬全開の日本から、起伏に富んでパワーを要求されるロンシャン競馬場の凱旋門賞へ、馬も騎手も経験のないまま

立ち向かったのだから、戦略がないと言われても返す言葉がない。

それでもハープスターは大向こうをうならせるパフォーマンスを披露した。直線入口最後の大外から一気に14頭を抜き去り、着差4馬身ちよつとの6着。「マイ・タイムフォーム」（英誌「タイムフォーム」）によると、ハープスターの上がり600mは出走20頭で断然の最速33秒35を記録した。これは勝つたトレヴの33秒84（2位）より0秒49も速い。レースの上がりは34秒45であり、これよりは1秒10も速い。

ハープスターの上がりはどれほど凄いか。当日の他のGⅠと比べてみるといい。1000mのアベイドロンシャン賞の上がりは33



石川ワタル

【著者略歴】
1947年 愛知県出身。競馬評論家

海外の競馬に精通し「優駿」誌上で海外ニュースを担当。凱旋門賞を初めて観戦したのは1975年。以来、日本の馬が勝つことを信じて毎年のように足を運んでいる。おもな著書に「石川ワタル、世界をワタル」「石川ワタルの世界ワンダーホース列伝」（ともに東邦出版）「石川ワタルの競馬理論」（自由国民社）

秒83。1400m（実際は1360m）のラガルドール賞は34秒54。1400mのフォレ賞は35秒21。1600mのマルセルブーサク賞は34秒19。2000mのオペラ賞は35秒08。4000mのカドラン賞は36秒09。すなわち2400mの凱旋門賞でハープスターの記録した上がり600mのタイムは、他のどのGⅠをも凌駕し、なんと1000mの短距離GⅠよりも速いのだ。

現地記者も認める 日本産馬の実力

昨年のトレヴの上がりもアベイドロンシャン賞より速くて話題になった。しかし今年のトレヴの上がりはこのレースより0秒1遅く、ハープスターの凄さ

が浮き彫りとなる。

「ハープスターは、絶望的な最後方の位置から脚を伸ばし、最後の600mを33秒35で走破した(3ハロンに直すと33秒55)。これは一流のスプリンターでも出せるかどうかのタイム。そうして大外を突きながら決勝線でもまだ伸びていた。これでは騎手の乗り方に問題があったというほかない」と、タイムフォームのS・ローランズ記者は書いている。

続けて、「この上がりタイムから推して、ハープスターは2着のプリントシャー(上がりタイム6位の34秒12)より上位と見ていい。ただしトレヴは上がり34秒を切っており、このフランス牝馬には届かない」とも。つまりハープスターの実力はトレヴにこそ及ばないものの、メンバー中の2位に相当するといふのだ。ちなみにジャスタウェイ(8着)の上がり33秒95は4番目の速さで、実質6着の価値があるという。

ローランズ記者は最後に「ハープスターが2015年の凱旋門賞に舞い戻って、日本の凱旋門賞未勝利に終止符を打つとしても、さして驚くことでは

ないだろう」と結ぶ。

これはトレヴの引退発表があったあとの10月8日に発表された記事だが、トレヴの引退が撤回された今でも、このまま通用する文章だと思いたい。ハープスターの実力は欧州の専門家に、かくも高く評価されている!

しかし残念なのは、ハープスターのあの豪脚をもつても「2着まで」と見なされたこと。



©(有)フォト・チェスナト

最後の直線。大きく横に広がって覇を競った

凱旋門賞で日本馬5回目の2着など、もう見たくない。

成長が遅い!? 日本の3歳馬

僕は長い間、日本の3歳馬は成長が遅いと考え、そのようにあちこちで書いてきた。日本は4歳、5歳、ときには6歳以上になっても活躍を続けられる競馬環境にある。仕上げを急ぐ必要はどこにもない。それに対して欧州では、3歳夏から古馬と互角以上に戦える馬体造りが求められ、どうしても日本の3歳馬は見劣りがしてしまう。

例えばグランプリボス。11年のNHKマイルC(GI)を勝った直後にロイヤルアスコットのセントジェームズパレスS(英GI)に遠征したが、9頭立ての大差8着に敗れた。12年の日本ダービーを制したデーブプリランテは、勇躍「キングジョージ」(英GI)に赴いたが、10頭立ての大差8着だった。それ以前も、日本の3歳馬はシリウスシンボリやエアシャカールが「キングジョージ」に挑んでは、欧州の厚い壁に跳ね返されてきた。06年のこのレースで小差3着に好走した

ハーツクライは当時5歳だった。願わくは僕の独断と偏見に異を唱える3歳馬が現れんことを!

ハープスターにはその可能性があったのに、惜しいことをしたら。もつとまぐ立ち回っていれば勝機があったかもしれないが、いまさらどうしようもない。

悔しい敗戦を糧に、 今度こそ

今年の凱旋門賞のあと、ハープスターの松田博資調教師に対し、「あの乗り方はない、騎手にあのような乗り方を指示したのか」等々、荒々しい質問が現地の記者から投げかけられたという。日本人には敗者をいたわる美德があるから、こういう聞き方はしない。厳しく勝敗を争うスポーツの世界で、それがいか悪いかかわらないが、日本にはそういう文化が根付いている。

日本の馬は馬群の中で抑えていくことに慣れていないから大外を回ったという説もある。慣れていないのなら、普段から慣れるようにすればいいだけのことだ。ジャスタウェイは馬群をさばいて最内につけ、最後の直



©(有)フォト・チェスナト

当協会の会員愛馬ゴールドシップも最高峰レースに参戦した

線に向いて一瞬これと思わせられた。あと300mで前が詰まった印象もあり、伸び切れなかったのは残念である。

今年の完敗を教訓とし、来年こそぜひ、凱旋門賞惜敗史にピリオドを打ってもらいたい。それには最初に述べた王道を順守し、ジャルネのいう勝つための戦略をしっかり立てることだ。日本人の騎手で勝つのは、ロンシャン競馬場を知り尽くした外国人騎手で一度勝つてからでもいいのではないか。凱旋門賞の歴史に学び、人事を尽くして天命を待てば、ごく近い将来、日本の悲願が達成されることだろう。



2年ぶりの開催となる札幌競馬場の芝コースを視察

グラウンドオープンを抑え 馬場調査が行われる 芝、ダートともに良好な状態を確認

札幌競馬場グラウンドオープンを1週間後に控えた7月17日、札幌競馬場の芝コースで当協会渉外委員会による馬場調査が行われた。

参加したのは宮永雅己副会長以下、小林昌志渉外委員長、上水典明同副委員長、本間茂委員、浅沼廣幸委員。札幌競馬場からは河原太一場長、柏田秀治副場長、鹿内英登専門役、伊藤哲也総務課長、宮城恭彦業務課長、中山晋施設整備課長が出席し、馬場整備状況に関する説明などを受けた。

札幌競馬場は、12年度開催終了後、13年秋までに1〜2コーナーの内側3〜4と、向こう正面の内側12〜13、及び3〜4コーナーとスタンド前にかけては全幅員の合計3万1600平方メートルで芝コースの張替作業が行われた。今年、記録的に雪の多かった昨シーズンよ

り雪は少なかつたものの、雪解け自体は平年よりも1週間ほど遅くなり、それにあわせて作業も遅いスタートとなった。6月に入ってから極端な高温、記録的な長雨のちの降雨不足と生育には望ましくない環境だったために肥料散布の追加などさまざまな生育管理を行い、良好な状態で開幕を迎えることができた。

また、ダートコースは全面的クッション砂洗浄と路盤の点検、補修が行われ、砂厚は従来どおりの9センチに調整されていることを確認した。

一昨年の開催では、芝、ダートともに事故馬が増加し、全国平均を上回る事故率を記録したことから、出席した委員からは馬場の硬度に関する質問などがあつたが「今年、6月に入ってから史上

最長の18日連続降雨のあと、まったく雨が降らない日が3週間ほど続くなど極端な天候になりましたが、芝コースは生育管理のために散水を行ったほか、ダートコースにおいても、乾燥が著しい場合は散水を行ってきました。良好な状態でレースを迎えられると思えます」という説明があつた。

14年度の札幌競馬場は第1回開催をAコースで、第2回開催をCコース（内ラチから3〜4部分に仮柵を使用）で行うことが確認された。（渉外委員会）



実際に触りながらコースの状態を視察した

愛馬の安全を祈って 馬場浄め式を開催

グランドオーブンを間近に控えた7月23日、パドックとコースをつなぐ「はなみち」で馬場浄め式が執り行われた。

式には、下河辺俊行会長、宮永雅己副会長、藤原悟郎副会長、浅沼廣幸常任監事、三好吉男理事らが出席。河原太一場長、柏田秀治副場長、中山晋施設整備課長らとともに三吉神社（札幌市中央区）神職の執り行う神事に従い、祝詞を奏上し、愛馬の安全と活躍、競馬の安全施行を祈願した。

一昨年の札幌競馬場は芝コースにおいて19頭が、ダートコースにおいては21頭が3ヶ月以上の休養を要する事故馬となっており、14年シーズンは事故馬の減少が祈願されている。（渉外委員会）



愛馬の安全を祈願した馬場浄め式

ゴルフコンペ「愛馬会」を開催 雨中の熱戦を

札幌競馬開催中の恒例行事のゴルフコンペ「愛馬会」が札幌競馬場新スタンド竣工記念と銘打って8月18日、恵庭カントリー倶楽部で行われた。この日はあいにくの空模様となったが、会員や家族、JRA札幌競馬場職員や調教師など29名が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、ダブルペリア方式でアウト、イン18ホールで熱戦が繰り広げられた。

優勝は81のスコアでまわった今秀幸さん。4打差の本間茂さんが準優勝となった。

プレー終了後は、下河辺俊行会長のあいさつに続いて、宮永雅己副会長から成績発表があり、なかなか雰囲気の中で、順位賞ほかニアピン賞やドラゴン賞など盛りだくさんの賞品が入賞者に贈られた。（事業サービス委員会）

JRA日本中央競馬会創立60周年記念 岩本允名誉会長、当協会が受賞

JRA日本中央競馬会の創立60周年にあたり、永年にわたって中央競馬に関連する業務に精励、また競走馬の生産育成に尽力する

など中央競馬の発展に功労のあった者と団体の功労者表彰を岩本名誉会長と当協会が受賞した。



岩本名誉会長が功労者表彰された



賞状

札幌競馬場新スタンド竣工記念タンブラーを贈呈

札幌馬主協会は、札幌競馬場のスタンド竣工記念「サラブレッド絵柄のタンブラーセット」を作成。新スタンド竣工の喜びを分かちあい、協会としての感謝のしるしとして会員と関係各位へ届けた。このタンブラーセットは、ニセコ町在住で日本ガラス工芸協会正会員、北島雅子氏によるもの。

5個のうち3個はJRA札幌競馬場の承認を得て「札幌日経オーブン」「しらかはステークス」「コスモス賞」の勝馬レリーフの図を使用し、「札幌」の銘を刻み、2個はニセコ町の有限会社トータルプランニング童夢の北島常雄、雅



宮永副会長から歴代優勝者の名が記されたトロフィーが授与された



愛馬会コンペであいさつする下河辺会長

子氏のデザインで、製作者「雅」の銘が刻み込まれている。（改築運営資金管理委員会）



竣工を記念してつくられたタンブラー

平成 26 年度 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団
施設等助成金贈呈先一覧

No.	法人名・施設名（所在地）	助成物件
1	(社福) 鷹栖共生会・大雪の園（鷹栖町）	使用電力削減・LED 設置工事
2	(社福) サロマ福祉会・サンガーデンさるま（佐呂間町）	送迎用車両
3	(社福) 新ひだか町社会福祉協議会・新ひだか町社会福祉協議会（新ひだか町）	パソコン・サーバー
4	(社福) 浦河向陽会・浦河向陽園（浦河町）	スチームコンベクションオーブン
5	(社福) 更葉園・きらびし（音更町）	印刷機用冷却装置
6	(社福) 土幌愛風会・土幌デイサービスセンター（土幌町）	送迎用車両
7	(特非) 生活相談サポートセンター・ホープ（札幌市西区）	車椅子トイレ設置工事・階段昇降車
8	(社福) 麦の子会・スタディ（札幌市東区）	送迎用車両
9	(特非) 北海道障がい者乗馬センター・乗馬セラピー倶楽部（札幌市中央区）	馬装具
10	(社福) 神愛園・神愛園手稲（札幌市手稲区）	介護用電動ベッド
11	(特非) つなぐ・東月寒サポートセンターふらっと（札幌市豊平区）	福祉車両
12	(社福) 清香園・夢なごみ（札幌市北区）	訪問用車両
13	(社福) 吉田学園福祉会・吉田学園さくら保育園（札幌市中央区）	ロードヒーティング整備工事
14	(社福) 北翔会・札幌すぎな園（札幌市白石区）	福祉車両
15	(社福) 愛全会・サン・グレイス（札幌市南区）	福祉車両
16	(社福) 札幌市豊平区社会福祉協議会・にしおか会館（札幌市豊平区）	会議用テーブル・椅子
17	(社福) 札幌市北区社会福祉協議会・幌北会館（札幌市北区）	カラー複合機・デジタル印刷機
18	(社福) 札幌市厚別区社会福祉協議会・厚別西会館（札幌市厚別区）	会議用テーブル・椅子
19	(社福) 札幌市西区社会福祉協議会・発寒北地区会館（札幌市西区）	会議用テーブル・椅子・演台
20	(社福) 札幌市清田区社会福祉協議会・北野連合会館（札幌市清田区）	音響設備
21	(社福) 扶躬会・鶴の園（釧路市）	送迎用車両
22	(社福) 萌寿会・萌寿園（留萌市）	除雪機
23	(社福) 根室明郷会・根室すずらん学園（根室市）	福祉車両
24	(社福) 恵庭光風会・（仮）えにわ地域活動センター（恵庭市）	介護浴槽・担架・ストレッチャー
25	(特非) PCNET・YUNI-FACTORY（札幌市中央区）	天井・屋根修繕工事
26	(社福) 札幌市清田区社会福祉協議会・ふれあいサロン「ゆらり」（札幌市清田区）	暖房機更新・入口ドア交換工事
計	26 件	24,090,000 円



挨拶する下河辺会長

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団平成 26 年度施設等助成金目録贈呈式
26 法人・施設へ 2409 万円を助成

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団（佐藤浩二理事長）札幌馬主協会関係分の平成 26 年度施設等助成金目録贈呈式が 9 月 26 日、京王プラザホテル札幌で行われた。式には下河辺俊行当協会会長、宮永雅己副会長、藤原悟郎副会長ほか、上水典明社会貢献委員長（当協会常務理事）、鎌田雄策副委員長（同理事）、秋谷壽之委員（同理事）、浅沼廣幸常任監事が出席。下河辺俊行会長、益満宏行財団専務理事のあいさつのあと、上水典明委員長から札幌馬主協会関係分助成金の割当決定に至る経過が説明され、藤原副会長から 26 の法人、施設の各代表に対して助成金目録が贈呈された。（社会貢献委員会）

札幌馬主協会単独助成事業

札幌馬主協会は、平成 26 年度の協会単独助成事業として、3 団体の活動に対して助成金を贈った。地域の自治活動を行う認可地縁団体・福井七丁目内会（札幌市西区・森下秋夫会長）には、町内会館の開設に伴う非常用放送設備設置費用として 90 万円を助成した。また、NPO 法人誠心会が運営

する児童自立援助ホーム・新冠こたにがわ学園（新冠町・黒川正紀学園長）のガス給湯器取換工事に 9 万円を助成した。子ども図書館を運営する公益財団法人ふきのとう文庫（札幌市中央区・高倉嗣昌代表理事）には、図書館の外構工事等に 100 万円を助成した。（社会貢献委員会）



選考の結果を報告する上水委員長



目録は藤原副会長から手渡された



中央競馬馬主社会福祉財団の益満宏行専務理事



北海道共同募金会の天羽啓常務理事



植田克己札幌競馬場場長

札幌競馬場

新スタンド竣工を祝う会を開催

新スタンド竣工後、初の札幌開催となった7月27日（第1回札幌競馬2日目）、新スタンド4階馬主エリアにおいて「札幌競馬場新スタンド竣工を祝う会」が開催された。この日はあいにくの雨模様にもかかわらず、300名を超える当協会会員（同伴者含む）が来場。2年ぶりの札幌競馬と、新し

いスタンドを楽しんだ。最終レース終了後に行われた竣工を祝う会には、132名の当協会会員と家族、河原太一JRA札幌競馬場場長や小島薫第1回札幌競馬開催委員長などJRA職員が出席。新スタンドの竣工を祝った。（協会運営委員会）



開催委員長が、新旧会長を囲んで新スタンドを祝った



記念すべき第1回札幌競馬の開催委員長となった小島薫理事



開会のあいさつは宮永雅己副会長。新スタンドの竣工を祝った



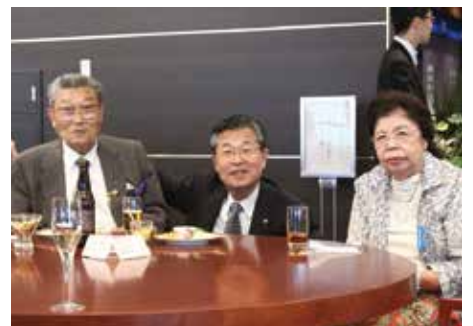
河原太一JRA札幌競馬場場長も駆けつけてくれた



祝宴を締めくくったのは浅沼廣幸常任監事



新スタンドの竣工を祝う会には、150人を超える方々が出席。藤原悟郎副会長の音頭で幕を開けた



新スタンドの完成を、新たなスタートの第一歩に

札幌競馬場新スタンド竣工記念 札幌馬主協会「会員懇親会」が華々しく開催

GI馬の競演に、4万6000人あまりのファンを集めた札幌記念から1週間。開催も残りわずかとなった8月31日、札幌パークホテルにおいて札幌競馬場新スタンド竣工記念「会員懇親会」が開催された。協会役員や会員とその家族。JRA開催委員長や役員、調教師や騎手など130名が参加して新スタンドの完成を祝った。会は、事業サービス委員長を務める小川義勝常務理事の「グラン

ドオープンから連日にぎわいを見せている札幌競馬場の残す開催は1週間だけになりました。今日は、アトラクションにも趣向を凝らしておりますので、日頃の疲れや馬券の悔しさなどを忘れて楽しんでください」という開会あいさつからスタート。

続いて主催者を代表して下河辺俊行会長からは「競馬場はたくさんの方々にぎわいを見せています。札幌記念当日は、近年札幌市内で行われたイベントとしては最高の人出だったと聞いています。これは胸を張れるものだと思います。また馬主エリアに設置しましたビュッフェも好評であると報告を受けております。この札幌競馬場の試みが全国に広がることを期待したいと思います」とあいさつしたのち藤原悟郎副会長による乾杯で祝宴は華々しく幕をあげた。



藤原悟郎副会長の発声で乾杯が行われた



JRA札幌競馬場の河原太一場長からは馬主協会に対して感謝の言葉がおくられた



下河辺俊行会長からは「札幌記念のGI昇格」を目指そうというあいさつがあった



常務理事・事業サービス委員会の小川義勝委員長から開会のあいさつ



第2回札幌競馬の開催委員長の小林善一郎理事からは好調な売り上げが報告された



新潟から駆けつけてくれた二ノ宮敬宇調教師会会長



藤原悟郎副会長は乾杯の音頭を取った



宮永雅己副会長の力強い言葉で会は締めくくられた



若手を中心にジョッキーもお祝いに駆け付けた



渥美二郎さんの優しい歌声とトニーヒロタさんのモネマネショーが会場を盛り上げてくれた



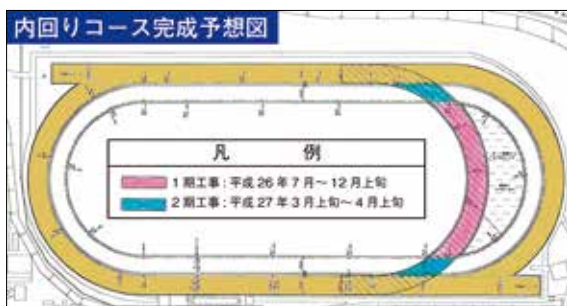


道 営 だ よ り

好調 ホッカイドウ競馬 2014年度も黒字決算を見込む

当協会も支援を続けてきた道営ホッカイドウ競馬が好調だ。2014年度全80日間を終えて、前年対比112%の約157億円を売り上げ、目標額を17億円近く上回った。この結果、2011年以来4年連続で前年対比、計画対比を上回ることになり、14年度も単年度収支は黒字が見込まれている。

2015年度は内回りコースが新設。距離にバリエーションを持たせることができるため、現在では行われていない1500m、または1600mのレースが可能になり、古馬も含め競走距離に変化を持たせた多彩な競馬をファンに提供できるようにする。



継続的安定へ22年ぶりの黒字決算

1948年に現行競馬法のもとで娯楽としての競馬事業を開始した北海道は、これまで多くのファンに支えられ、91年には過去最高となる約454億円の売り上げを記録。この年までに約290億円を一般会計に繰り入れてきた。経済波及効果は約200億円にも及ぶと試算され（北海道競馬改革ビジョンより）、北海道経済に大きな役割を果たしてきた。しかし、景気の低迷やレジャーの多様化などにより92年から連続した赤字決算を繰り返し、00年前後には競馬事業の存続が危ぶまれる事態にまで陥ったこともある。

その間、08年に道が策定した「北海道競馬改革ビジョン」や11年に提出された「北

海道競馬推進プラン」にのっとり、実施体制の見直しや競馬場の集約化といったハード面はもちろん、魅力ある競馬を行うために番組の充実、開催経費の削減など多岐にわたって改革を実施。また当協会を含み、管内外の自治体や関連企業、あるいは馬産地、競馬関連団体などが一体となって同競馬を支援。昨年は22年ぶりに継続的安定の第一歩となる黒字収支を達成した。

こうした結果を受けて北海道軽種馬振興公社の井村勝昭専務理事は「ホッカイドウ競馬の事業拠点を日高町・門別に移し、公社が競馬実施法人となって5年目。番組の充実はもちろんですが、JRA含めた広域場間場外発売の充実、また何よりも馬たちの頑張りがホッカイドウ競馬を広くアピールしてくれた結果だと思っています。まだ

まだ多くのご支援に負うところが大きいですが、足元を見つめなおし、継続的安定に向けて役員一同頑張つてまいります」とコメントしている。

さらなる発展へ

そして15年度からはさらに競走馬の個性をいかし、またファンにおもしろい競馬を提供するために3〜4コーナーをショートカットするような形で1周1400mの内回りコースが新設される。来年度は昼間の開催時間のみの利用を予定しているが、再来年以降には内回りコースにもナイター照明設備が整備される見込み。更なる発展を目指している。

年度	開催日数	総売上 (単位:円)	1日あたり発売額 (単位:円)	計画対比	前年対比	開催競馬場
2005	16 開催 87 日間	11,467,392,800	131,809,113	87.5%	101.4%	札幌・旭川・門別
2006	16 開催 85 日間	11,930,033,700	140,353,338	96.5%	104.0%	札幌・旭川・門別
2007	17 開催 83 日間	11,920,960,900	143,626,035	90.5%	99.9%	札幌・旭川・門別
2008	16 開催 82 日間	11,391,511,600	138,921,000	92.9%	95.6%	札幌・旭川・門別
2009	16 開催 81 日間	11,545,702,200	142,539,533	97.9%	101.4%	札幌・門別
2010	15 開催 80 日間	11,292,244,500	141,153,056	94.4%	97.8%	門別
2011	15 開催 80 日間	11,571,375,600	144,642,195	102.7%	102.5%	門別
2012	15 開催 80 日間	11,999,871,700	149,998,396	100.1%	103.7%	門別
2013	15 開催 79 日間	14,017,430,400	177,435,828	109.9%	116.8%	門別
2014	15 開催 80 日間	15,706,698,980	196,333,738	112.0%	112.1%	門別

ホッカイドウ競馬 年次別売上比較表

新任のごあいさつ

札幌競馬場長
植田克己



札幌馬主協会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

9月16日付けで札幌競馬場長を拝命し、ランドオープン熱気が冷めやらぬなか、過日着任しました。私は昭和57年に入会后、これまで主に本部の販売部門で勤務し、北海道勤務は初めてでございます。このたび新装改まった札幌競馬場で勤務できることをとても光栄に思いますとともに、開場以来107年の伝統ある競馬場の歴史に新たな1ページを刻み始めることの重責に、身の引き締まる思いでございます。

さて、札幌競馬場は本年7月26日にランドオープン開催を迎えましたが、待ちに待った新スタンド故に会員の皆様のお慶びはひとしおのものがあつたかとお察し申し上げます。ここに至るまでの間、札幌馬主協会の皆様から数々のご助言・ご協力を賜り、加えましてエントランスの壁面装飾レリーフ「黄金の仔馬の誕生」の寄贈をはじめとして多大なご支援を賜りましたことに対し、誌面をお借りして、改めて深く感謝申し上げます次第です。

おかげさまをもちまして、14日間の期間中に26万7512名(昨年比145.7%)の多くのご来場を賜り、特に女性やファミリー層といった普段は競馬に馴染みの薄いお客様の来場が飛躍的に伸び、盛況理に終了いたしました。

このランドオープンの成功を一時的なものに終わらせることなく、札幌の新名所として「新・札幌競馬場」のステータスを更に高め、次世代に引き継がなければならないと考えております。装いも新たになった競馬場の魅力を多方面から発信しつつ、より一層多くの方々身近に親しんでいただける競馬場を目指して様々な工夫を凝らしてまいりたいと存じます。今後とも何卒貴会のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、今回の改築におきまして、馬産地に近く交通至便な立地特性を活かすべく、本格的なセリ会場の機能を備えました。馬主・生産者の皆様にご有効にご利用いただき、市場取引の活性化に少しでもお役に立てば幸いです。併せて、セリ市場の開催を通して一般の方々にも違った側面から競走馬・競馬の魅力をお伝えしたいと考えておりますので、皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴会のみならずのご発展と会員の皆様のご健勝並びに愛馬のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

2015年度の JRA開催日程決まる

北海道シリーズを飾る8重賞

●ワールドスーパージョッキーズ シリーズが札幌で開催

●札幌記念の1着賞金はGⅡ最高の 6800万円に引き上げ

15年度のJRA開催日程が発表された。北海道シリーズは、函館開催が6月20日から7月26日までの2開催12日間。札幌開催は8月1日から9月6日までの2開催12日間で14年度から2日減となった。

重賞競走は、函館開幕週の21日には、例年サマースプリントシリーズの

月	開催日			競馬場		
7月	4	5		福島	中京	函館
	11	12		福島	中京	函館
	18	19		福島	中京	函館
	25	26		福島	中京	函館
8月	1	2		新潟	小倉	札幌
	8	9		新潟	小倉	札幌
	15	16		新潟	小倉	札幌
	22	23		新潟	小倉	札幌
9月	29	30		新潟	小倉	札幌
	5	6		新潟	小倉	札幌
	12	13		中山	阪神	
	19	20	21	中山	阪神	
10月	26	27		中山	阪神	
	3	4		中山	阪神	
	10	11	12	東京	京都	
	17	18		東京	京都	新潟
11月	24	25		東京	京都	新潟
	31			東京	京都	福島
		1		東京	京都	福島
	7	8		東京	京都	福島
12月	14	15		東京	京都	福島
	21	22	23	東京	京都	
	28	29		東京	京都	
	5	6		中山	阪神	中京
12月	12	13		中山	阪神	中京
	19	20		中山	阪神	中京
	26	27		中山	阪神	

※赤数字は日曜、青数字は日曜以外の祝日

月	開催日			競馬場		
1月		4	5	中山	京都	
	10	11	12	中山	京都	
	17	18		中山	京都	中京
	24	25		中山	京都	中京
	31			東京	京都	
2月		1		東京	京都	
	7	8		東京	京都	小倉
	14	15		東京	京都	小倉
	21	22		東京	京都	小倉
	28	29		中山	阪神	小倉
3月		1		中山	阪神	小倉
	7	8		中山	阪神	
	14	15		中山	阪神	中京
	21	22		中山	阪神	中京
	28	29		中山	阪神	中京
4月	4	5		中山	阪神	
	11	12		中山	阪神	福島
	18	19		中山	阪神	福島
	25	26		東京	京都	福島
5月	2	3		東京	京都	新潟
	9	10		東京	京都	新潟
	16	17		東京	京都	新潟
	23	24		東京	京都	新潟
	30	31		東京	京都	
6月	6	7		東京	阪神	
	13	14		東京	阪神	
	20	21		東京	阪神	函館
	27	28		東京	阪神	函館

開幕戦となる函館サマースプリントS（GⅢ、芝1200m）が行われ、7月19日には古馬による伝統のハンデ戦、函館記念（GⅢ、芝2000m）が、最終日26日には明日のスターたちが集う函館2歳S（GⅢ、芝1200m）が組まれている。

また、札幌開催では8月2日に秋の牝馬GⅠ戦線を占う重要な1戦となる北海道新聞杯クイーンS（GⅢ、芝1800m）が開幕週を飾り、16日に

行われるダートのGⅢエルムSから4週連続で重賞番組が決まった。23日には、毎年のように豪華メンバーが集うGⅡ札幌記念が、30日にはスピード自慢が集うキーンランドC（GⅢ、芝1200m）が、そして最終週の9月5日は再来年のクラシックを目指す馬たちによる札幌2歳S（GⅡ、芝1800m）で締めくくられる。

世界の名ジョッキーが 札幌で腕比べ

国際騎手招待競走「ワールドスーパージョッキーズシリーズ」が札幌競馬場で行われることになった。

ワールドスーパージョッキーズシリーズ（以下、WSJS）は1987年に阪神競馬場でスタート。世界をまたにかけて活躍するトップジョッキーが集い、日本の中央、地方競馬を代表

する名手たちと腕を競いあい、2日間4レースの合計ポイントで順位が決められる。レースは重賞競走以外の特別競走で、騎乗馬は公開抽選によって決められる。

2010年、ジャパンカップの30周年記念事業として東京競馬場で開催されてからは、東京競馬場と阪神競馬場で隔年開催となっていたが、2015年からは札幌競馬場を舞台とすることが発表された。

今年で28回目を迎えるWSJS。過去27回の成績はJRA所属騎手が11勝で、海外騎手が13勝。地方代表騎手が4勝。（2004年は1位同点で2名優勝）

札幌記念が GⅡ最高賞金レースに

秋競馬への重要なステップレースとなっている札幌記念（芝2000m）の1着賞金が6500万円から6800万円へと引き上げられることになった。これは2歳から古馬まで合計36レース組まれているGⅡ競走の中では阪神カップや毎日王冠、大阪杯などの6500万円を抜いて単独トップ。過去、多くの名馬たちが札幌記念をステップに秋のGⅠ競走を制しており、名実ともにGⅠ競走に限りなく近いGⅡ競走となった。

A 重賞日程

- 出走資格の牡牝はせん馬出走不可のレース
- サウジアラビアロイヤル C とターコイズ S は G3 格付申請中

施行月日	競馬場	レース名	格付け	距離 (メートル)	出走 資格	負担 重量	第1着 本賞金 (単位:万円)
7月5日	福島	ラジオNIKKEI賞	Ⅲ	芝1800	3歳	ハンデ	3,700
7月5日	中京	CBC賞	Ⅲ	芝1200	3歳上	ハンデ	3,800
7月12日	福島	七夕賞	Ⅲ	芝2000	3歳上	ハンデ	4,000
7月12日	中京	プロキオンS	Ⅲ	ダ1400	3歳上	別定	3,500
7月19日	函館	函館記念	Ⅲ	芝2000	3歳上	ハンデ	4,000
7月26日	中京	中京記念	Ⅲ	芝1600	3歳上	ハンデ	3,800
7月26日	函館	函館2歳S	Ⅲ	芝1200	2歳	馬齢	3,000
8月1日	小倉	小倉サマージャンプ	Ⅲ	芝3390	障3歳上	別定	2,800
8月2日	新潟	アイビスサマーダッシュ	Ⅲ	芝1000	3歳上	別定	3,800
8月2日	札幌	北海道新聞杯クイーンS	Ⅲ	芝1800	3歳上牝	別定	3,500
8月9日	新潟	レパードS	Ⅲ	ダ1800	3歳	馬齢	4,000
8月9日	小倉	小倉記念	Ⅲ	芝2000	3歳上	ハンデ	4,000
8月16日	新潟	関屋記念	Ⅲ	芝1600	3歳上	別定	3,800
8月16日	札幌	エルムS	Ⅲ	ダ1700	3歳上	別定	3,500
8月23日	札幌	札幌記念	Ⅱ	芝2000	3歳上	定量	6,800
8月23日	小倉	北九州記念	Ⅲ	芝1200	3歳上	ハンデ	3,800
8月29日	新潟	新潟ジャンプS	Ⅲ	芝3250	障3歳上	別定	2,800
8月30日	新潟	新潟2歳S	Ⅲ	芝1600	2歳	馬齢	3,000
8月30日	札幌	キーンランドC	Ⅲ	芝1200	3歳上	別定	4,000
9月5日	札幌	札幌2歳S	Ⅲ	芝1800	2歳	馬齢	3,000
9月6日	新潟	新潟記念	Ⅲ	芝2000	3歳上	ハンデ	4,000
9月6日	小倉	小倉2歳S	Ⅲ	芝1200	2歳	馬齢	3,000
9月13日	阪神	セントウルS	Ⅱ	芝1200	3歳上	別定	5,700
9月13日	中山	京成杯オータムハンデキャップ	Ⅲ	芝1600	3歳上	ハンデ	3,800
9月19日	阪神	阪神ジャンプS	Ⅲ	芝3140	障3歳上	別定	2,800
9月20日	阪神	ローズS	Ⅱ	芝1800	3歳牝	馬齢	5,000
9月21日	中山	セントライト記念	Ⅱ	芝2200	3歳	馬齢	5,200
9月27日	中山	オールカマー	Ⅱ	芝2200	3歳上	別定	6,500
9月27日	阪神	神戸新聞杯	Ⅱ	芝2400	3歳上牝	馬齢	5,200
10月3日	阪神	シリウスS	Ⅲ	ダ2000	3歳上	ハンデ	3,500
10月4日	中山	スプリンターズS	Ⅰ	芝1200	3歳上	定量	9,500
10月10日	東京	サウジアラビアロイヤルC	—	芝1600	2歳	馬齢	3,200
10月11日	東京	毎日冠	Ⅱ	芝1800	3歳上	別定	6,500
10月12日	京都	京都大賞典	Ⅱ	芝2400	3歳上	別定	6,500

施行月日	競馬場	レース名	格付け	距離 (メートル)	出走 資格	負担 重量	第1着 本賞金 (単位:万円)
10月17日	東京	府中牝馬S	Ⅱ	芝1800	3歳上牝	別定	5,300
10月18日	京都	秋華賞	Ⅰ	芝2000	3歳牝	馬齢	8,900
10月18日	東京	東京ハイジャンプ	Ⅱ	芝3110	障3歳上	別定	4,000
10月24日	東京	富士S	Ⅲ	芝1600	3歳上	別定	4,000
10月25日	京都	菊花賞	Ⅰ	芝3000	3歳牝	馬齢	11,200
10月31日	京都	スワンS	Ⅱ	芝1400	3歳上	別定	5,700
10月31日	東京	アルテミスS	Ⅲ	芝1600	2歳牝	馬齢	2,800
11月1日	東京	天皇賞(秋)	Ⅰ	芝2000	3歳上	定量	15,000
11月7日	東京	京王杯2歳S	Ⅱ	芝1400	2歳	馬齢	3,600
11月7日	京都	ファンタジーS	Ⅲ	芝1400	2歳牝	馬齢	2,800
11月8日	東京	アルゼンチン共和国杯	Ⅱ	芝2500	3歳上	ハンデ	5,500
11月8日	京都	みやこS	Ⅲ	ダ1800	3歳上	別定	3,700
11月14日	京都	デイリー杯2歳S	Ⅱ	芝1600	2歳	馬齢	3,600
11月14日	京都	京都ジャンプS	Ⅲ	芝3170	障3歳上	別定	2,800
11月14日	東京	武蔵野S	Ⅲ	ダ1600	3歳上	別定	3,700
11月15日	京都	エリザベス女王杯	Ⅰ	芝2200	3歳上牝	定量	9,000
11月15日	福島	福島記念	Ⅲ	芝2000	3歳上	ハンデ	4,000
11月22日	京都	マイルチャンピオンシップ	Ⅰ	芝1600	3歳上	定量	10,000
11月23日	東京	東京スポーツ2歳S	Ⅲ	芝1800	2歳	馬齢	3,200
11月28日	京都	京都2歳S	Ⅲ	芝2000	2歳	馬齢	3,200
11月29日	東京	ジャパンC	Ⅰ	芝2400	3歳上	定量	30,000
11月29日	京都	京阪杯	Ⅲ	芝1200	3歳上	別定	3,800
12月5日	中山	ステイヤーズS	Ⅱ	芝3600	3歳上	別定	6,000
12月5日	中京	金鯱賞	Ⅱ	芝2000	3歳上	別定	6,000
12月6日	中京	チャンピオンズC	Ⅰ	ダ1800	3歳上	定量	9,400
12月12日	阪神	チャレンジC	Ⅲ	芝1800	3歳上	ハンデ	4,000
12月13日	阪神	阪神ジュベナイルフィリーズ	Ⅰ	芝1600	2歳牝	馬齢	6,500
12月13日	中山	カペラS	Ⅲ	ダ1200	3歳上	別定	3,500
12月19日	中山	ターコイズS	—	芝1600	3歳上牝	ハンデ	3,500
12月20日	阪神	朝日杯フューチャリティS	Ⅰ	芝1600	2歳牝	馬齢	7,000
12月26日	中山	中山大障害	Ⅰ	芝4100	障3歳上	定量	6,500
12月26日	阪神	阪神C	Ⅱ	芝1400	3歳上	定量	6,500
12月27日	中山	有馬記念	Ⅰ	芝2500	3歳上	定量	25,000
12月27日	中山	ホープフルS	Ⅱ	芝2000	2歳牝	馬齢	6,500

施行月日	競馬場	レース名	格付け	距離 (メートル)	出走 資格	負担 重量	第1着 本賞金 (単位:万円)
1月4日	中山	中山金杯	Ⅲ	芝 2000	4歳上	ハンデ	4,000
1月4日	京都	京都金杯	Ⅲ	芝 1600	4歳上	ハンデ	4,000
1月11日	京都	シンザン記念	Ⅲ	芝 1600	3歳	別定	3,700
1月12日	中山	フェアリーS	Ⅲ	芝 1600	3歳 牝	別定	3,400
1月18日	京都	日経新春杯	Ⅱ	芝 2400	4歳上	ハンデ	5,500
1月18日	中山	京成杯	Ⅲ	芝 2000	3歳	別定	3,700
1月24日	京都	京都牝馬S	Ⅲ	芝 1600	4歳上 牝	別定	3,500
1月25日	中山	アメリカジョッキークラブC	Ⅱ	芝 2200	4歳上	別定	6,000
1月25日	中京	東海テレビ杯東海S	Ⅱ	ダ 1800	4歳上	別定	5,300
2月1日	東京	根岸S	Ⅲ	ダ 1400	4歳上	別定	3,700
2月1日	京都	シルクロードS	Ⅲ	芝 1200	4歳上	ハンデ	3,800
2月8日	東京	東京新聞杯	Ⅲ	芝 1600	4歳上	別定	3,800
2月8日	京都	きさらぎ賞	Ⅲ	芝 1800	3歳	別定	3,700
2月14日	東京	デイリー杯クイーンC	Ⅲ	芝 1600	3歳 牝	別定	3,400
2月15日	京都	京都記念	Ⅱ	芝 2200	4歳上	別定	6,000
2月15日	東京	共同通信杯	Ⅲ	芝 1800	3歳	別定	3,700
2月21日	東京	ダイヤモンドS	Ⅲ	芝 3400	4歳上	ハンデ	4,000
2月22日	東京	フェブラリーS	I	ダ 1600	4歳上	定量	9,400
2月22日	小倉	小倉大賞典	Ⅲ	芝 1800	4歳上	ハンデ	4,000
2月28日	阪神	アーリントンC	Ⅲ	芝 1600	3歳	別定	3,700
3月1日	中山	中山記念	Ⅱ	芝 1800	4歳上	別定	6,000
3月1日	阪神	阪急杯	Ⅲ	芝 1400	4歳上	別定	4,000
3月7日	中山	夕刊フジ杯オーシャンS	Ⅲ	芝 1200	4歳上	別定	4,000
3月7日	阪神	チューリップ賞	Ⅲ	芝 1600	3歳 牝	馬齢	3,400
3月8日	中山	報知杯弥生賞	Ⅱ	芝 2000	3歳	馬齢	5,200
3月14日	阪神	阪神スプリングジャンプ	J-II	芝 3900	障 4歳上	別定	4,000
3月14日	中京	中日新聞杯	Ⅲ	芝 2000	4歳上	ハンデ	4,000
3月15日	阪神	報知杯フィリーズレビュー	Ⅱ	芝 1400	3歳 牝	馬齢	5,000
3月15日	中山	ローレル競馬場賞中山牝馬S	Ⅲ	芝 1800	4歳上 牝	ハンデ	3,500
3月21日	中山	フラワーC	Ⅲ	芝 1800	3歳 牝	別定	3,400
3月21日	中京	中日スポーツ杯ファルコンS	Ⅲ	芝 1400	3歳	別定	3,700
3月22日	中山	フジテレビ賞スプリングS	Ⅱ	芝 1800	3歳 牝	馬齢	5,200
3月22日	阪神	阪神大賞典	Ⅱ	芝 3000	4歳上	別定	6,500
3月28日	中山	日経賞	Ⅱ	芝 2500	4歳上	別定	6,500

施行月日	競馬場	レース名	格付け	距離 (メートル)	出走 資格	負担 重量	第1着 本賞金 (単位:万円)
3月28日	阪神	毎日杯	Ⅲ	芝 1800	3歳	別定	3,700
3月29日	中京	高松宮記念	I	芝 1200	4歳上	定量	9,500
3月29日	中山	マーチS	Ⅲ	ダ 1800	4歳上	ハンデ	3,500
4月5日	阪神	産経大阪杯	Ⅱ	芝 2000	4歳上	別定	6,500
4月5日	中山	ダービー卿チャレンジT	Ⅲ	芝 1600	4歳上	ハンデ	3,800
4月11日	中山	ニュージールランドT	Ⅱ	芝 1600	3歳 牝	馬齢	5,200
4月11日	阪神	サンスポ杯阪神牝馬S	Ⅱ	芝 1400	4歳上 牝	別定	5,300
4月12日	阪神	桜花賞	I	芝 1600	3歳 牝	定量	8,900
4月18日	中山	中山グランドジャンプ	J-I	芝 4250	障 4歳上	定量	6,500
4月18日	阪神	アンタレスS	Ⅲ	ダ 1800	4歳上	別定	3,500
4月19日	中山	皐月賞	I	芝 2000	3歳 牝	定量	9,700
4月25日	福島	福島牝馬S	Ⅲ	芝 1800	4歳上 牝	別定	3,700
4月26日	東京	サンスポ賞フローラS	Ⅱ	芝 2000	3歳上 牝	馬齢	5,000
4月26日	京都	読売マイラーズC	Ⅱ	芝 1600	4歳上	別定	5,700
5月2日	東京	テレビ東京杯青葉賞	Ⅱ	芝 2400	3歳	馬齢	5,200
5月3日	京都	天皇賞(春)	I	芝 3200	4歳上	定量	15,000
5月9日	京都	京都新聞杯	Ⅱ	芝 2200	3歳	馬齢	5,200
5月10日	東京	NHKマイルC	I	芝 1600	3歳 牝	定量	9,200
5月10日	新潟	新潟大賞典	Ⅲ	芝 2000	4歳上	ハンデ	4,000
5月16日	東京	京王杯スプリングC	Ⅱ	芝 1400	4歳上	別定	5,700
5月17日	東京	ヴィクトリアマイル	I	芝 1600	4歳上 牝	定量	9,000
5月23日	京都	平安S	Ⅲ	ダ 1900	4歳上	別定	3,500
5月24日	東京	優駿牝馬	I	芝 2400	3歳 牝	定量	9,700
5月30日	京都	京都ハイジャンプ	Ⅱ	芝 3930	障 4歳上	別定	4,000
5月31日	東京	東京優駿	I	芝 2400	3歳上 牝	定量	20,000
5月31日	東京	目黒記念	Ⅱ	芝 2500	4歳上	ハンデ	5,500
6月6日	阪神	鳴尾記念	Ⅲ	芝 2000	3歳上	別定	4,000
6月7日	東京	安田記念	I	芝 1600	3歳上	定量	10,000
6月14日	東京	エプソムC	Ⅲ	芝 1800	3歳上	別定	4,000
6月14日	阪神	マーメイドS	Ⅲ	芝 2000	3歳上 牝	ハンデ	3,500
6月21日	東京	ユニコーンS	Ⅲ	ダ 1600	3歳	別定	3,400
6月21日	函館	函館スプリントS	Ⅲ	芝 1200	3歳上	別定	3,800
6月27日	東京	東京ジャンプS	Ⅲ	芝 3110	障 3歳上	別定	2,800
6月28日	阪神	宝塚記念	I	芝 2200	3歳上	定量	15,000

スノードラゴンが 教えてくれたもの



岡田牧雄さん
新ひだか町・静内在住
岡田スタッフ代表

愛馬スノードラゴン(牡・6歳)のスプリンターズステークスG1・芝1200m優勝の際には、本当にたくさんの方から「おめでとう」と声をかけていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。と、同時に「ありがとうございます」という声もいただきました。それは、実のところあの馬は、私を含めた6人の共同所有馬であり、私を代表とする会社がレーシングマネジメントを行っている馬だからです。

競走馬を所有するということは、他では得られない大きな夢を見ることができると同時に、多大なリスクを伴うことでもあります。それを軽減、分散させようというのが共同所有制度です。現在、JRAでは10分の1の権利を有することで馬主資格を継続させることができず、欧米でも数多くの例が存在します。種牡馬として活躍したサンデーサイレンスや今春の英愛タービーに勝利したオーストラリアなども複数オーナーの馬です。そしてもうひとつ。共同所有の楽しさは、普段の社会生活の中では知り合うことが少ない異業種の方々と「同じ目的を

持つて経済活動を行うこと」があります。そうした活動は、自分自身も成長させてくれるという一面も持つており、今回も個人で完全所有する場合では得られない喜びを分かち合うことができました。関係する方々すべてに感謝と御礼を申し上げます。

スノードラゴンとの出会いは、そうした共同所有馬探しの中から生まれまし。この馬は、馬体全体のバランスや筋肉量などに恵まれ、いわゆる見栄えのする馬でした。放牧地での動きから、肩の出や飛節の伸び、背中を使い方などを確認し、さらに血統表から得られる情報と馬体を照合しました。コジーンからグレイソングリンへとさかのぼるこの父系は、高齢になっても能力が衰えにくいという特徴を持つています。スノードラゴンの父アドマイヤコジーンも2歳チャンピオンでありながら6歳時に安田記念に勝利しています。当時、まだあどけなさを残す芦毛馬もそうした特徴を強く受け継いでいると思いましたが、まさかここまで活躍するとは、というのが正直なところ

スノードラゴンの場合でいえば、そういう背景があったからこそ、2歳夏のデビューから馬に無理をさせることなくゆったりしたローテーションで使うことができたのです。あの馬は、長い競走キャリアの中で長期休養がありません。もちろん、高木登調教師がこちら側の考えを理解してくれたからこそできたことではあります。競走馬における意思疎通の大切さを再認識させてくれた馬でもあります。

今回、この勝利を札幌競馬場の4階馬主エリアで見ることができました。開催期間中はたくさんの方々にぎわったスタンドですが、パークウインズ開催期間中は来賓室が開放され、ゆつくりと競馬と馬券を楽しむことができます。私は、ほぼ毎週のようにこの場所で競馬と馬券を楽しんでおります。

それは、日本の競馬が世界一になるためには、馬券の売り上げを伸ばすことが不可欠だと考えているからです。「世界一」という定義はさまざまですが、日本の馬が世界のG1競走に当たり前

のように出走し、そして勝てるようになること。その夢を実現させるために、微力ながら各種メディアなどを通して馬券と競馬の楽しさを広くアピールしてきました。競走馬の共同所有もある意味では、その一貫であるかもしれません。

だから、役員室を撤廃し、ビュッフェスタイルで競馬を楽しめるようになった札幌競馬場の新スタンドは、次世代のニッポン競馬の象徴になるのではないかと考えています。馬主エリアの入場者数は、開催の前半よりも、後半になるにしたがって増加傾向だったと聞いています。心強い限りです。来年は開催日数の減少となるようですが、たくさんの方が平等に楽しめるこの札幌競馬場のスタンドを有効に活用するためには開催日数を8週16日間に戻して欲しい。そして、毎年のように素晴らしいメンバーが揃う札幌記念をG1レースに昇格してほしい。そうなったときに、新しい形のニッポン競馬がスタートするのではないかと、そんな思いでいっぱいです。



武田 修さん

札幌市北区在住
たけだ皮膚科スキンケアクリニック院長

新しい 札幌競馬場 そして、夢

新しい札幌競馬場は、わずか14日間という開催だけではもったいないくらいの素敵なスタンドでした。どこがということではなく、競馬ファンがみんなと一緒に楽しめる雰囲気為何より素晴らしいと思います。

私は、自分の馬が出走するときはなるべく家族で応援に行くようにしているのですが、北海道シリーズ中、ずっと惜しい競馬を続けていたハヤブサペコチャンが最後の最後で勝ってくれたときも、馬主席では、

周囲にいた方みんなと一緒に喜んでくれたそうです。そういう雰囲気の中で人と人が一体感をもてるのも、競馬ならではの楽しみだと思います。

「くれたそうです」というのは、実は愛馬が出走するとき、私は常にゴール板の目の前にいるのです。好きなのです、あの場所が。蹄音が響いて、馬の息遣いが聞こえます。ただ、あのレースは、正直「またやられた」と思いました。スローVTRが流れてはじめて僅差で勝ったことが分かりましたが、内と外から一気に来られましたからね。本当によく頑張ってくれたと思います。そして、あの勝利が、私にとつて区切りとなるJRA通算10勝目となりました。いろいろな意味で想い出に残る1勝になりそうです。

競馬との出会いは学生時代です。友人から競馬の魅力をつぶりと教わっているときにちょうど「ダービースタリオン」というゲームが発売されました。自分で牧場を経営し、理想とする配合馬をつくって、自身の名付けで走らせる。競馬の魅力が凝縮されたゲームでした。ゲームであれだけ楽しいのなら、本当の馬主になったらどれほど楽しいだろう、それなら絶対に馬主になつてやるぞ、と思うようになったのです。

馬主になるためには、どうすればいいのか。当時、北大医学部の学生だった私は、「馬主になる」ということを当面の目標にしました。皮膚科の開業医という職業を選んだのも、馬主になるためのもっとも近道だと

判断したからです(笑)。

競馬の難しく、また醍醐味を感じるところは、すべて自分で決断しなければならぬところだと思えます。馬券も自分で決めて自分で判断する。そして、その責任は自分で負うのです。それがわが人生と似ていると思えます。

「The Life is Gamble.」が、わが座右の銘です。

進学するとき、仕事を選ぶとき、そして結婚。人生にはさまざまな分岐点があります。そして、人間はその都度、決断を迫られます。競馬は、そこに「運」と「出会い(馬、そして馬に関わる人々)」という要素が加わります。

馬に付ける名前も、そのひとつ。私がある馬の馬主になったと一番実感できるのが、デビュー戦の本馬場入場で自分の馬の名前が呼ばれる瞬間です。ハヤブサペコチャンが紹介されたときは「よし、やった」と思いました。だから、ジャパン・スタックドブック・インターナショナルにフアックスするときも同じような高揚感を覚えます。「もう、後戻りはできない」みたいな高揚感です。

「ハヤブサ」という冠号は、いつか自分の馬が世界で活躍するときに、外国人が日本をイメージしやすいようにと考えた名前です。「ペコチャン」というのは、牝馬ですから皆に愛されるような名前、かつ新聞の見出しにしやすい名前、そして直線で馬券を握りしめたファンが叫びやすい名前と

思つて名づけました。家族には、ずいぶんと反対されました(笑)が、自分で決めました。

馬主の楽しみは、いろいろあると思うのですが、ぼくには最初に掲げた夢があります。「JRAの全競馬場で所有馬が勝利すること(現在5場/全10場)」、飛躍して「ジャパンカップに勝つこと」、そして「ドバイから招待されて出走すること」。どれもとんでもない夢だということはわかってはいるつもりです。子供たちからは「ジャパンカップの前に1000万下を勝たなきゃ」なんてからかわれています。この夢は馬主である限りいつまでも追い求めたいと思っています。まだ、馬主人生で、20回ぐらい、ジャパンカップは開催されますから(笑)。

この夏は、馬たちが本当に頑張ってくれ、北海道シリーズ13週間で、毎週延べ22回出走してくれました。新しいスタンドだからということももちろんですが、毎週のように競馬場へ出かけられる楽しさと元気を、馬たちからもらつたような気持ちです。

競馬の世界は、人との繋がりがすべてと実感しています。妻の伯父である高田喜嘉顧問をはじめ、様々な方にご指導、ご鞭撻頂き、今があると感謝しております。来年もまた、この札幌の地で、愛馬たちが活躍してくれることを期待しながら、いつの日か、自分の夢がかなうよう、仕事に、競馬に全力で頑張っていきたいと思えます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

日本軽種馬協会は愛ダービー馬ケープブランコを導入 2015年よりJBBBA静内種馬場で供用開始

日本軽種馬協会（河野洋平会長）は、2010年の愛国ダービー馬ケープブランコ号（2007年生 7歳 愛国産 父ガリレオ 母ローレルデイルイト 母の父プレジウム）を2015年から同協会静内種馬場でけい養することを決めた。

ケープブランコは2〜4歳時に英仏愛UAE米の5ヶ国で出走。通算成績は15戦9勝2着1回。

現役時代は愛国の名伯楽A・オブライエン調教師の管理下におかれ2歳時はフューチュリティS（愛GⅡ）含み不敗の3連勝。3歳シーズン初戦のGⅡダンテSではのちに英国ダービーを制するワークフォース（本邦輸入種牡馬）に3馬身以上の差をつけて優勝している。1番人気になった仏ダービーでは不可解な敗戦を喫したが、地元に戻った愛国ダービーで同厩舎のマイダスタッチとの追いつきを制して優勝。オブライエン調教師の5年連続ダービー制覇に華を添えた。続くキングジョージⅥ&クインエリザベスSは、2番手からレースを進めて直線1度は先頭に立とうという積極的なレースで、伸び悩むワークフォースを尻目に

ハービンジャーの2着と健闘。3歳馬最先着を果たしている。続く愛チャンピオンステークスを逃げ切つて世代トップクラスの力を示している。

4歳時はドバイワールドCから始動。ガネー賞4着のあとロイヤルアスコット開催のクイーンアンSでも敗れると米国遠征を敢行。マンノウォース、アーリントンミリオン、ターフクラシック招待Hと芝の中距離GⅠ競走3連勝を記録するも、ターフクラシック招待Hのレース中に骨折していたことが判明。現役引退を余儀なくされたが、それまでの実績が認められて同年の最優秀芝牡馬に選出されている。

父ガリレオは2001年の欧州3歳牡馬チャンピオンで、2008年、10〜12年の英愛チャンピオンサイアー。これまで欧州年度代表馬2回のフランケルや欧州2&3歳牡馬チャンピオンのニューアプローチ、2013年英ダービー馬のルーラーオブザワールド、2014年の英愛ダービー馬オーストラリア、南ア年度代表馬のイググなど9頭のチャンピオンホースを含む、46頭のGⅠ馬を送り出している。

現役引退後は2012年から米国のアッシュフォードスタッドで供用開始。現1歳の初年度産駒は米キーンランドセプテンバーセールで45万ドル、英タタソールズオクトーバーセールで34万ギニーと世界各地で高く評価されている。発表された種付け料は250万円と なっている。

ケープブランコ競走成績

	場所	出走回数	1着	2着	3着
2009 (2歳)	愛	3	3	0	0
2010 (3歳)	英仏愛	6	3	1	0
2011 (4歳)	UAE仏英米	6	3	0	0
		15	9	1	0

おもな成績

2011年米芝牡馬チャンピオン

①愛ダービー	愛GⅠ・芝12ハロン
①愛チャンピオンステークス	愛GⅠ・芝10ハロン
①アーリントンミリオン	米GⅠ・芝10ハロン
①マンノウォースステークス	米GⅠ・芝11ハロン
①ターフクラシック招待H	米GⅠ・芝12ハロン
①ダンテステークス	愛GⅡ・芝9ハロン
①フューチュリティステークス	愛GⅡ・芝7ハロン
①タイロスステークス	愛GⅢ・芝7ハロン
②キングジョージⅥ&クインエリザベスS	



欧州を席卷しているガリレオの直仔。期待は大きい

ケープブランコ血統表

Galileo 鹿毛1988	Sadler's Wells	Northern Dancer
	Urban Sea	Fairy Bridge
Laurel Delight 栗毛1990	Presidium	Miswaki
		Allegretta
	Foudroyer	General Assembly
		Doubly Sure
		アーティアス
		Foudre

北海道市場 トレイニング セール

毎年5月の中旬に開催される2歳トレイニングセール。06年から交通アクセスのよいJRA札幌競馬場で開催されることが多くなったこと、11年からは「ひだかトレイニングセール」との共催になって上場頭数や売却頭数などは最大規模の2歳トレイニングセールとなった。民間の育成牧場で仕上げられた馬たちが、競馬場のダートコースを使って2ハロン計測の公開調教を行い、購買意欲を煽る。レースの1ヶ月前にもリハーサル映像が撮影、公開されるのも特徴的。比較的手頃な価格で多数のなかから選択できる市場だ。



セリは函館競馬場のパドックを利用して行なわれた

史上初の函館開催は レコードラッシュ

札幌競馬場のスタンド改修工事のため「北海道市場2歳トレイニングセール」（市場事務局・日高軽種馬農業協同組合）が5月13日（火）、函館競馬場で行われた。開催場所の変更などがあり、上場頭数は過去最高を記録した前年から79頭の減少の183頭（牡93頭、牝90頭）となったが、うち137頭（牡68頭、牝69頭）を売却。総額8億1441万円（税別）を売り上げた。売却率は過去最高の74・9%。平均価格、中間価格ともに前年から大きく数字を伸ばした。

最高価格は、公開調教で2ハロン22秒16を記録した「サムシングナイス24」（牡、父サクラプレジデント）の2750万円。東京都の林正道氏に購買された。

また牝馬では公開調教で12秒64〜11秒61の好時計を記録した「スイートクラブ

ティの2012」（父シンボリクリスエス）が1610万円で愛知県の竹内三年氏に購買された。

トレイニングセールらしく、公開調教の時計が売却率、価格に大きな影響を与える結果となった。最後1ハロンで10秒台をマークした馬は37頭。うち35頭が売却された。

市場終了後、木村貢市場長は「従来のレポジトリーに加えて、今回から薬物検査を実施したことが購買者の信頼を得たと考えている。加えて、上場頭数が減ったことで、選抜市場のような形になったのが大きかったと判断しているが、購買者、販売者並びにJRA函館競馬場に感謝したい。購買登録者数は昨年より13名増の355名。多くの購買者と公開調教での仕上りの良さなどが相乗効果となった」とコメントした。



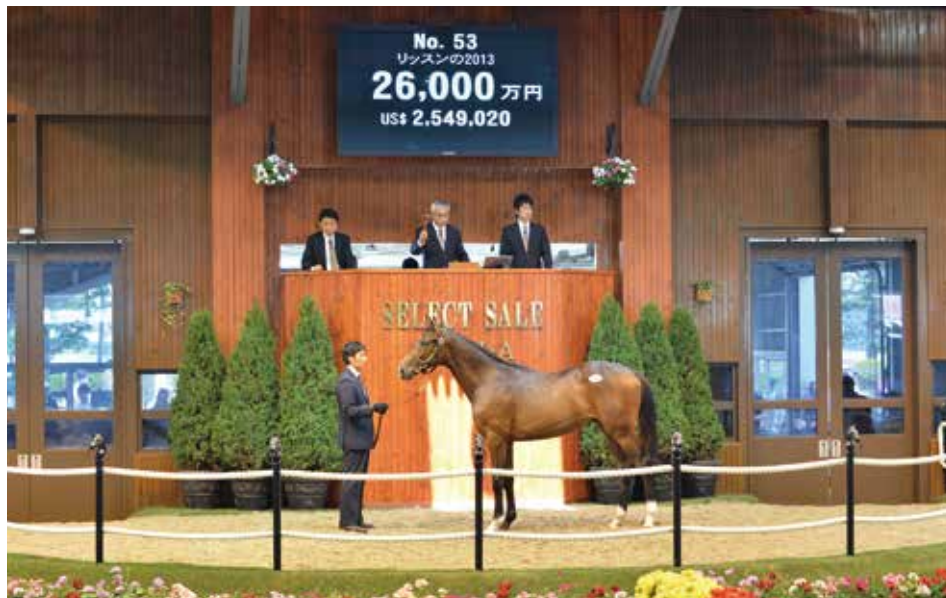
2750万円で落札されたサムシングナイス24

北海道市場 トレイニングセール 累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2005	126	64	50.8	307,290,000	26,000,000	1,000,000	4,801,406	3,500,000
2006	171	90	52.6	503,200,000	19,000,000	900,000	5,591,111	4,650,000
2007	125	82	65.6	433,500,000	35,000,000	1,500,000	5,286,585	4,500,000
2008	181	82	45.3	413,900,000	28,000,000	1,500,000	5,047,561	4,000,000
2009	142	86	60.6	441,600,000	23,500,000	600,000	5,134,884	4,000,000
2010	179	100	55.9	564,600,000	53,000,000	1,000,000	5,646,000	4,000,000
2011	215	133	61.9	631,800,000	26,000,000	1,000,000	4,750,376	4,100,000
2012	181	123	68	675,450,000	28,000,000	1,500,000	5,491,463	4,300,000
2013	262	152	58	812,010,000	30,000,000	1,000,000	5,342,171	4,000,000
2014	183	137	74.9	814,410,000	27,500,000	1,000,000	5,944,599	4,900,000

価格は全て税抜き

セレクトセール 1歳



1歳の最高価格馬はカタールのファハド・アル・サーニ殿下によって落札された

毎年7月初旬に苦小牧市のノーザンホースパークで開催される競走馬市場。日本競走馬協会（河野太郎会長）が主催し、国内の競走馬1歳市場としては毎年最高の売却率、総売上、平均価格を記録している。上場の半数以上を社台グループが占め、高額落札馬の多くが同グループからの上場馬。1歳市場は1998年の市場開設初年度に小規模で行われたが翌年から休止し、2006年から復活。2011年の最高価格馬は、同年の当歳市場最高価格馬を超えるなど現在は当歳市場と平行するように開催されて活況を呈している。

5年連続で売却率80%超 最高価格馬は カタールのファハド殿下が落札

7月14日（月）、苦小牧市のノーザンホースパークで行われたセレクトセールの初日は1歳セクション。選りすぐられた1歳馬255頭（牡145頭、牝110頭）が上場し、215頭（牡127頭、牝88頭）を売却。84.3%の売却率で6億2800万円（税抜）を売り上げた。平均価格は売上レコードを記録した前年を上回った。

最高価格は英国G1勝馬を母に持つ「リッソンの2013」（牡、父ディープインパクト）。8000万円からスタートしたせりは、会場のあちらこちらから声がかかってあつという間に1億5000万円を突破。最後はカタールのファハド・アル・サーニ殿下が2億6000万円で落札した。セールに



最高価格馬となったリッソンの2013

帯同した中内田充正調教師は「世界のどの国へ行っても通用する血統。すでにアスリート体型をしており、このまま順調に成長していつてほしいと思います。いずれは、種牡馬になれるような器だと思います。期待どおりの走りを見せてほしい」と日本で行われた1歳せり史上歴代3位の高額馬に夢を膨らませていた。

市場終了後、日本競走馬協会の吉田勝己理事は「ディープインパクトやハーツクライの子供たちが華やかにしてくれた市場を、これまで市場を支えてくれた方々はもちろん、海外の方や新規の馬主の方々など、たくさんの方に参加いただき、良い市場ができたと感謝しています。来年も良い馬を揃えて、たくさんの方に喜んでもらえるような市場にしたい」と抱負を語った。

セレクトセール1歳 累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2006	165	109	66.1	3,414,000,000	205,000,000	7,000,000	31,321,101	21,000,000
2007	150	108	72.0	3,284,400,000	250,000,000	6,000,000	30,411,111	17,250,000
2008	151	105	69.5	2,347,600,000	245,000,000	3,500,000	22,358,095	16,000,000
2009	156	122	78.2	2,699,400,000	145,000,000	4,000,000	22,126,230	16,000,000
2010	214	173	80.8	3,157,100,000	66,000,000	4,000,000	18,249,133	15,000,000
2011	233	197	84.5	4,726,000,000	360,000,000	5,000,000	23,989,848	18,500,000
2012	242	202	83.5	5,452,600,000	250,000,000	4,000,000	26,993,069	19,500,000
2013	257	226	87.9	6,160,700,000	180,000,000	4,000,000	27,259,735	18,500,000
2014	255	215	84.3	6,028,000,000	260,000,000	4,000,000	28,037,209	20,000,000

価格は全て税抜き

当歳 セレクトセール

国内唯一の競走馬当歳市場（主催・日本競走馬協会）で、セレクトセール1歳の翌日に同じ若小牧市のノーザンホースパークで開催される。1998年の市場開設以来、2日間開催で行われてきたが2010年からは選考基準をより厳しくして、日程を1日限りに短縮された。かつてはサンデーサイレンス、現在ではディープリンパクトやキングカメハメハなど良血馬の上場が多く、毎年のように国内市場最高落札価格誕生の舞台となっている。メディアへの露出も高く、華やかな雰囲気が出されている。



日米年度代表馬を両親に持つ垂涎の良血馬

当歳市場は過去最高の 売却率を記録

アゼリ産駒が2年連続最高価格馬に

セレクトセール当歳は、7月15日（火）に若小牧市のノーザンホースパークで開催された。選りすぐられた当歳馬220頭（牡161頭、牝59頭）が上場されて189頭（牡139頭、牝50頭）を売却。前年比10・4ポイント増となる85・9%の売却率で、65億4705万円（税抜）を売り上げた。セレクトセール当歳の売却率が80%を超えたのは05年の80・1%以来、9年ぶり2度目。総売上は4年連続前年比超えて、65億円を超えたのは開催が短縮されてからは初めてとなった。

その中で、最高価格となったのは良血「アゼリの2014」（牡、父ディープリンパクト）。市場鑑定人から、母アゼリが北米で27戦して11のGⅠ競走含み、17勝。その合計着差が52馬身に

もなることが紹介されたのちにせりは「1億円」の声からスタート。テンポよく1000万円ずつ競りあがり、結果、昨年の当歳最高価格馬となった全兄「アゼリの2013」を1000万円超える2億5000万円で落札された。

市場を終えて、日本競走馬協会の吉田照哉会長代行は「これ以上ないというくらい市場を開催できたと思っっています。一部の高額馬だけではなく、あらゆる価格帯で活発なせりが展開されたことが市場を底上げし、ディープリンパクトだけではなく、ハーツクライやステイゴールドにも高い評価をいただいたことが全体の数字となったと思います」と市況を分析。「来年はオルフェーヴルやロードカナロアの産駒も上場されると思いますし、今回の結果は将来につながる結果になると思います」と語った。



最高価格馬となったアゼリの2014

累年成績 セレクトセール当歳

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2005	302	242	80.1	7,972,000,000	210,000,000	4,000,000	32,942,149	26,000,000
2006	304	221	72.7	8,340,500,000	600,000,000	6,000,000	37,739,819	26,000,000
2007	317	240	75.7	8,292,500,000	300,000,000	6,000,000	34,552,083	26,000,000
2008	314	222	70.7	7,339,000,000	220,000,000	5,000,000	33,058,559	26,000,000
2009	320	207	64.7	4,913,200,000	165,000,000	6,000,000	23,735,266	19,000,000
2010	208	141	67.8	3,339,000,000	112,000,000	5,000,000	23,680,851	17,000,000
2011	220	161	73.2	4,447,200,000	250,000,000	6,000,000	27,622,360	20,000,000
2012	211	158	74.9	4,843,700,000	250,000,000	6,000,000	30,656,329	23,500,000
2013	220	166	75.5	5,604,000,000	240,000,000	6,000,000	33,759,036	23,000,000
2014	220	189	85.9	6,547,050,000	250,000,000	4,000,000	34,640,476	24,000,000

価格は全て税抜き

セレクト セールの

国内で唯一、選考委員会による実馬検査が行われている1歳選抜市場。毎年、7月中旬に新ひだか町静内神森の北海道市場で開催される。2001年に、それまで6月と7月にわかれて行われていた競走馬市場を統合する形でスタート。2003年から当歳セレクトセールもスタートさせたが、2011年からは1歳市場のみで開催されている。日高産駒を中心とした市場で、血統に加えて、馬格や馬体、成長度なども加味されて上場馬が決定される。近年、売却率、総売上とともに右肩上がりの傾向を示しており、注目される市場だ。



2014年北海道市場の最高価格馬はハーツクライの産駒だった

**売却率は3年連続60%超で、
総売上は3年連続アップ**
最高価格馬は
ハーツクライの牡馬

日高の選抜市場「セレクトセールセンター」(市場事務局・日高軽種馬農業協同組合)が7月22日(火)、新ひだか町の北海道市場で開催された。248頭(牡187頭、牝61頭)が上場して154頭(牡120頭、牝34頭)が落札。売却総額は前年比4700万円増の総額17億1570万。平均落札価格は前年比微減だったものの、売却頭数は前年比11頭増の154頭。2日間開催だった2011年を除けば過去最高の売却頭数となった。

最高価格は「アルカイククレディの2013」(牡、父ハーツクライ)。14年春シーズンに産駒がブレイクしたハーツクライ産駒ということに加え、エイシ



最高価格馬となったアルカイククレディの2013

ンキンチェム、エイシンオールドスの半弟にあたる血統で、1200万円からスタートしたせりは、あつという間に2000万円、3000万円を突破。最後は4300万円で落札された、同馬を生産した梅田牧場では「前日展示の段階からたくさんの方に見ていただきましたが、ここまで高い評価をいただけたのは驚いています。オーナーのご恩に報いるためにも、無事にデビューして活躍して欲しい」とエールを送っていた。

セール終了後、木村貢市場長は「1頭でも多くの馬を売却したいという思いで上場馬を決めてきましたが、セレクトセールがプライスメーカー的な役割を担っていることを考えれば、もっと上場頭数を絞り込んでも良いという思いもある」と、来年度に向けて抱負を語った。

セレクトセール 累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2005	191	106	55.5	1,220,860,000	40,000,000	3,000,000	11,517,547	9,700,000
2006	188	115	61.2	1,170,800,000	47,000,000	3,500,000	10,180,870	8,200,000
2007	197	128	65.0	1,507,000,000	60,000,000	1,600,000	11,773,438	8,600,000
2008	228	107	46.9	1,102,500,000	29,000,000	3,900,000	10,303,738	9,000,000
2009	241	132	54.8	1,239,100,000	30,600,000	2,000,000	9,387,121	8,000,000
2010	245	141	57.6	1,459,200,000	27,000,000	3,500,000	10,348,936	9,000,000
2011	360	201	55.8	1,755,400,000	24,000,000	2,500,000	8,733,333	8,000,000
2012	211	129	61.1	1,506,400,000	31,000,000	5,000,000	11,677,519	9,700,000
2013	224	143	63.8	1,668,700,000	46,000,000	5,000,000	11,669,231	9,600,000
2014	248	154	62.1	1,715,700,000	43,000,000	5,000,000	11,140,909	9,200,000

価格は全て税抜き

サマーセール

かつては「定期市場」と呼ばれた市場で、セレクションセールの選考に漏れた馬や、遅生まれなどの理由により7月の市場では見劣ると判断された馬の上場が多い。毎回、1000頭を超える上場頭数でにぎわう国内最大規模の1歳馬市場だ。そのため、馬産地の景気を映し出す鏡のような存在ともいわれていた。手ごろな価格でバラエティに富んだラインナップの中から選択できる楽しみがあるが、近年では売却率が飛躍的に向上。とくに2013年からは開催日を5日から4日に短縮したことで競り合うシーンが目立つようになった。



セレクションセールに続いてハーツクライ産駒が最高落札馬となった

売却率、売上総額は2年連続でレコード更新

「サマーセール・サラブレッド1歳」(市場事務局・日高軽種馬農業協同組合)が8月25日(月)から28日(木)、新ひだか町の北海道市場で開催された。4日間で、131頭の種牡馬産駒1133頭(牡606頭、牝527頭)が上場されて、695頭(牡423頭、牝272頭)を売却。売却率は前年を6ポイント以上上回る61・3%を記録した。総売上も前年を4億円以上多い28億5760万円(税抜)を記録した。売却頭数、売却率、総売上ともに「北海道8月市場」時代を含め新記録。売上総額は3年連続で市場レコードを塗り替える盛況セールとなった。

4日間を通して最高価格となったのは、日高町の山際辰夫さんが生産した「セーフアズロックの2013」(牡、



最高価格馬となったセーフアズロックの2013

父ハーツクライ)。セレクトセールでも、セレクションセールでも高い売却率を記録したハーツクライの産駒で、母系には輸入種牡馬のダイヤモンドシヨールなどがある血統。1000万円からスタートしたせりは小刻みに上がり続け、早々に1500万円を突破。その後も、多くのバイヤーから声がかかり続け、最終的には近年のサマーセールでは最高の2650万円で落札された。

セール終了後、木村貢市場長は「今回は購買登録者数が前年を85名上回る676名の方がせりに参加してくれました。市場として60%を超える売却率を記録したことはそういう方々のおかげと感謝しております」と満足そうに4日間をふりかえった。

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2005	1156	309	26.7	1,607,450,000	24,500,000	150,000	5,202,104	4,000,000
2006	1122	356	31.7	1,732,700,000	25,000,000	100,000	4,867,135	4,000,000
2007	1125	368	32.7	1,612,600,000	26,000,000	700,000	4,382,065	3,450,000
2008	1124	354	31.5	1,523,500,000	20,200,000	500,000	4,303,672	3,500,000
2009	1077	396	36.8	1,647,600,000	18,500,000	500,000	4,160,606	3,500,000
2010	1178	479	40.7	1,887,200,000	22,000,000	200,000	3,939,875	3,100,000
2011	1209	519	42.9	1,930,700,000	17,200,000	400,000	3,720,039	3,000,000
2012	1190	566	47.6	2,312,720,000	25,000,000	500,000	4,086,078	3,100,000
2013	1130	618	54.7	2,412,500,000	20,500,000	500,000	3,903,722	3,000,000
2014	1133	695	61.3	2,857,600,000	26,500,000	300,000	4,111,655	3,300,000

価格は全て税抜き

サマーセール
累年成績

オータム セール

年内に行われる最後の1歳市場で、サマーセールに次ぐ大型市場。以前は当歳市場と併設されることもあったが、近年では1歳馬のみを3日間で行われることが多くなった。セレクトションセールやサマーセールなどで声がかからなかった馬が再上場されると思われがちだが、近年では遅生まれなど7月や8月の市場では見劣りする馬が馬体の成長を待つて上場されることも多く、文字どおりの玉石混合市場。リーズナブルな取引価格の割には活躍馬が多いことも知られており、もっと注目されてよい市場だ。



最高値落札シーン

売却率は過去最高の62%を記録

2014年シーズン最後の競走馬市場「北海道市場・オータムセール・サラブレッド1歳」（市場事務局・日高軽種馬農業協同組合）が10月6日（月）から8日（水）までの3日間、新ひだか町静内神森の北海道市場で開催された。1歳馬703頭（牡271頭、牝432頭）が上場され、436頭（牡183頭、牝249頭）を売却。過去最高の62・0%の売却率で、総額で11億3928万円（税抜）を売り上げた。

最高価格は、函館スプリントステークス優勝馬ビーナスラインの半弟「ホクトペンダント25」（牡、父ワークフォース）。700万円からスタートしたせりは、オータムセールらしく小刻みに10万円単位で競り上がり、1000万円を突破。その後も複数のバイヤーから声がか



最高価格馬となった「ホクトペンダント25」

かり続け、最後は1560万円でハンマーが打ち下ろされた。購買登録者は前年比40人増の606人。購買実績者数も前年比7人増の237人。こうした購買者に支えられて、台風の影響が心配された初日を、売却率が59・73%で乗り切ると、天候が回復した2日目は68・4%まで数字を伸ばし、最終日も58・3%を記録して市場全体でも60%を超える売却率を記録した。

3日間の開催を終えて、木村貢市場長は「コンスタントに高い売却率を記録できたことで販売申込者に安心感を与えられたと思っています。来年は、さらにより良い市場にしていきたいと考えています」と好調だった3日間を振り返った。

オータムセール 累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2005	708	190	26.8	537,730,000	18,500,000	500,000	2,830,158	2,000,000
2006	716	251	35.1	799,840,000	46,500,000	500,000	3,186,614	2,100,000
2007	764	333	43.6	1,128,210,000	28,200,000	500,000	3,388,018	2,500,000
2008	764	266	34.8	774,290,000	15,100,000	500,000	2,910,865	2,200,000
2009	773	346	44.8	908,000,000	13,500,000	500,000	2,624,277	2,000,000
2010	823	407	49.5	1,069,670,000	16,100,000	300,000	2,628,182	2,000,000
2011	784	397	50.6	940,960,000	14,500,000	300,000	2,370,176	1,800,000
2012	804	425	52.9	967,450,000	17,500,000	300,000	2,276,353	2,000,000
2013	670	383	57.2	1,065,000,000	14,500,000	300,000	2,780,679	2,050,000
2014	703	436	62.0	1,139,280,000	15,600,000	200,000	2,613,028	2,000,000

価格は全て税抜き

札幌馬主協会会員
勝馬紹介

平成26年6月7日～11月2日

WINNERS

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
6月7日	阪神③	3歳未勝利	ハビネスイズヒア	牡	3	阿部 榮乃進	1200・ダート	1:12.9	中井 裕二	飯田 雄三	厚真・阿部榮乃進
6月7日	阪神③	3歳未勝利	マイネルブレッヂ	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2200・芝	2:16.2	C.ウィリアムズ	宮本 博	新冠・コスモヴェューファーム
戎橋特別											
6月7日	阪神③	3歳以上500万下	ワールンガ	牡	4	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:08.4	池添 謙一	池添 兼雄	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
麦秋ステークス											
6月7日	東京③	3歳以上1600万下	デザートオアシス	牡	6	H.H.シェイク・モハメド	1400・ダート	1:22.5	北村 宏司	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
6月14日	函館①	3歳未勝利	ブラウンカイ	牡	3	キャピタルクラブ	1200・芝	1:10.1	丸山 元気	武藤 善則	新ひだか・沖田博志
6月14日	東京③	3歳未勝利	マキシマムフロー	牡	3	社台レースホース	2100・ダート	2:11.3	石橋 脩	木村 哲也	千歳・社台ファーム
6月14日	阪神③	3歳未勝利	ヴァッフシュテルケ	牡	3	宮内牧場	1200・芝	1:09.7	和田 竜二	岩元 市三	浦河・宮内牧場
2歳新馬戦											
6月14日	東京③	2歳新馬	クイーンマグノリア	牝	2	社台レースホース	1400・ダート	1:26.8	宮崎 北斗	武市 康男	千歳・社台ファーム
6月14日	阪神③	3歳以上500万下牝	アーバンレジェンド	牝	4	吉田 照哉	1800・ダート	1:53.4	川田 将雅	松田 博資	千歳・社台ファーム
6月14日	東京③	3歳以上500万下	ツインキャンドル	牝	3	下河辺牧場	1300・ダート	1:17.3	石川 裕紀	手塚 貴久	日高・下河辺牧場
江の島特別											
6月14日	東京③	3歳以上1000万下	ベステゲシェンク	牡	4	吉田 勝己	1600・芝	1:34.58	北村 宏司	古賀 慎明	安平・ノーザンファーム
6月15日	函館①	3歳未勝利	ケイエスポーラ	牡	3	キヨシサービス	1200・芝	1:10.0	岩田 康誠	高橋 義忠	日高・高柳隆男
6月15日	阪神③	3歳未勝利	イルーシヴキャット	牝	3	社台レースホース	1200・ダート	1:12.8	松若 風馬	松元 茂樹	安平・追分ファーム
6月15日	東京③	3歳以上500万下	フェアプレシア	騾	5	岡田 牧雄	1600・芝	1:34.0	原田 和真	栗田 徹	新ひだか・岡田スタッド
多摩川ステークス											
6月15日	東京③	3歳以上1000万下	シャイニープリンス	牡	4	小林 昌志	1600・芝	1:33.1	蛭名 正義	栗田 博憲	平取・コアレススタッド
UHB杯											
6月15日	函館①	3歳以上1000万下	ブルーストーン	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:09.1	吉田 隼人	伊藤 圭三	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
エプソムカップ (GⅢ)											
ディサイファ 牡5 H.H.シェイク・モハメド											
6月15日 東京③ 3歳以上オープン 1800・芝 四位 洋文 小島 太											
日高・ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:1分46秒2 (2着マイネルラクリマ)											
遊楽部特別											
6月15日	函館①	3歳以上1000万下	コスモスターター	牝	4	ビッグレッドファーム	1800・芝	1:49.1	黛 弘人	鈴木 康弘	新冠・ビッグレッドファーム
6月21日	東京③	3歳未勝利	マイネルボルソー	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1300・ダート	1:19.0	柴田 大知	黒岩 陽一	新冠・竹中牧場
6月21日	東京③	3歳未勝利	マイネルシェルト	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:48.0	柴田 大知	上原 博之	新冠・ビッグレッドファーム
6月21日	東京③	3歳未勝利	シーフレットパス	牡	3	岡田 牧雄	2100・ダート	2:14.6	田辺 裕信	尾形 和幸	新ひだか・岡田スタッド
6月22日	東京③	3歳未勝利牝	ペイジャンスゼータ	牝	3	北所 直人	1400・ダート	1:27.2	石川 裕紀	大江原 哲	浦河・大西牧場
6月22日	阪神③	3歳未勝利	コスモレディー	牝	3	ビッグレッドファーム	2400・芝	2:32.8	和田 竜二	飯田 雄三	新冠・コスモヴェューファーム
メイクデビュー函館											
6月22日	函館①	2歳新馬	マイネルエスパス	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1200・芝	1:09.5	松岡 正海	菊川 正達	新ひだか・木下牧場
6月22日	東京③	3歳未勝利	コスモラバン	牝	3	ビッグレッドファーム	1400・芝	1:23.1	柴田 大知	畠山 吉宏	日高・門別牧場
6月22日	阪神③	3歳以上500万下	フギン	牝	4	一村 哲也	1200・芝	1:09.5	福永 祐一	森 秀行	オーストラリア産
6月28日	函館①	3歳未勝利牝	スヴァラッシー	牝	3	吉田 正志	1700・ダート	1:48.1	城戸 義政	矢作 芳人	安平・追分ファーム
6月28日	函館①	3歳未勝利	マイネルピクトル	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	2:03.6	丹内 祐次	菅原 泰夫	新ひだか・大典牧場
三宮ステークス											
6月28日	阪神③	3歳以上1600万下	サマリーズ	牝	4	H.H.シェイク・モハメド	1200・ダート	1:10.6	酒井 学	藤岡 健一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
6月28日	阪神③	3歳以上500万下	ステイウェル	牡	4	ヒガカ・フリーダース・エニオン	1400・ダート	1:23.9	浜中 俊	佐々木 晶	浦河・高村牧場
6月29日	函館①	3歳未勝利	コスモピンチョス	牡	3	ビッグレッドファーム	1000・ダート	0:59.1	丹内 祐次	天間 昭一	新冠・長浜秀昭
6月29日	阪神③	3歳未勝利	キングズガード	牡	3	日進牧場	1400・ダート	1:24.3	川田 将雅	田中 章博	浦河・日進牧場
6月29日	阪神③	3歳未勝利	マウナロア	牡	3	ヒガカ・フリーダース・エニオン	2000・ダート	2:04.8	北村 友一	北出 成人	新ひだか・フジワラファーム
6月29日	函館①	3歳以上500万下	マイネルハルカゼ	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1700・ダート	1:47.0	松岡 正海	五十嵐 忠	新冠・カミイスタット
八丈島特別											
6月29日	東京③	3歳以上500万下	サンバジーリオ	牡	4	吉田 照哉	2000・芝	2:02.9	石橋 脩	尾形 充弘	千歳・社台ファーム
大沼ステークス											
6月29日	函館①	3歳以上オープン	ロイヤルクレスト	牡	6	木村牧場	1700・ダート	1:44.0	古川 吉洋	鈴木 伸尋	日高・木村牧場
パラダイステークス											
6月29日	東京③	3歳以上オープン	ミトラ	騾	6	吉田 勝己	1400・芝	1:22.5	蛭名 正義	萩原 清	安平・ノーザンファーム



開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
第55回宝塚記念 (GI) ゴールドシップ 牡5 小林 英一 6月29日 阪神③ 3歳以上オープン 2200・芝 横山典弘 須貝尚介 日高町・出口牧場 タイム:2分13秒9(2着カレンミロティック)										
7月5日	函館②	3歳未勝利	オールドリン	牡3	社台レースホース	1700・ダート	1:48.1	岩田 康誠	角居 勝彦	千歳・社台ファーム
7月5日	中京③	3歳未勝利	シーリーヴェール	牡3	社台レースホース	1800・ダート	1:52.2	福永 祐一	藤原 英昭	安平・追分ファーム
7月5日	福島②	3歳未勝利	ブリツツカイザー	牡3	岡田 牧雄	1200・芝	1:08.8	柴田 善臣	菊川 正達	新ひだか・岡田スタッド
御在所特別			アルパタックス	牡4	社台レースホース	1600・芝	1:34.8	武豊	石坂 正	千歳・社台ファーム
7月5日	中京③	3歳以上500万下								
TVh杯			ブランドムール	牝5	日進牧場	1200・芝	1:08.7	四位 洋文	粕谷 昌央	浦河・日進牧場
7月5日	函館②	3歳以上1600万下								
7月6日	福島②	3歳未勝利	サンタレジーナ	牝3	吉田 勝己	1150・ダート	1:09.4	北村 宏司	高橋 裕	安平・ノーザンファーム
7月6日	中京③	3歳未勝利(混合)	コスモフラッグ	牡3	ビッグレッドファーム	1400・ダート	1:24.5	和田 竜二	中尾 秀正	日高・浦新徳司
メイクデビュー中京			ペガサスボス	牡2	天羽牧場	1600・芝	1:40.0	岩田 康誠	矢作 芳人	日高・天羽牧場
7月6日	中京③	2歳新馬								
メイクデビュー中京			コートシャルマン	牝2	社台レースホース	1400・芝	1:23.5	福永 祐一	松永 幹夫	千歳・社台ファーム
7月6日	中京③	2歳新馬牝								
7月6日	中京③	3歳未勝利	メドウラーク	牡3	吉田 勝己	2200・芝	2:19.9	小牧 太	橋田 満	安平・ノーザンファーム
7月6日	函館②	3歳以上500万下	ハヤブサファイバー	牡5	武田 修	1700・ダート	1:47.0	吉田 隼人	伊藤 圭三	新ひだか・ランド牧場
7月6日	函館②	3歳以上500万下	シベリアンタイガー	牡3	岡田 牧雄	1800・芝	1:49.5	菱田 裕二	栗田 博憲	新ひだか・増本良孝
7月12日	函館②	3歳未勝利牝	シュンドルボン	牝3	下河辺牧場	1700・ダート	1:47.5	三浦 皇成	矢野 英一	日高・下河辺牧場
7月12日	福島②	3歳未勝利	コスモキングダム	牡3	岡田 繁幸	1700・ダート	1:47.0	柴田 大知	手塚 貴久	アメリカ産
松島特別			マイネルミラノ	牡4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	1:59.6	柴田 大知	相沢 郁	新冠・ビッグレッドファーム
7月12日	福島②	3歳以上1000万下								
豊明ステークス			プリムラブルガリス	牡4	吉田 照哉	1400・芝	1:20.6	浜中 俊	庄野 靖志	千歳・社台ファーム
7月12日	中京③	3歳以上1600万下								
7月13日	福島②	3歳未勝利	キネオダンサー	牝3	吉田 千津	1800・芝	1:48.0	的場 勇人	牧 光二	新冠・バカバカファーム
7月13日	函館②	3歳未勝利牝	ビレッジソング	牝3	岡田 牧雄	2000・芝	2:02.3	城戸 義政	加藤 和宏	日高・いとう牧場
メイクデビュー中京			コスモビーコック	牝2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:40.0	戸崎 圭太	中村 均	新冠・ビッグレッドファーム
7月13日	中京③	2歳新馬								
7月13日	中京③	3歳未勝利	リノリオ	牡3	錦岡牧場	1400・ダート	1:24.9	松若 風馬	西園 正都	新冠・錦岡牧場
7月13日	福島②	3歳未勝利	マイネシーア	牝3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1200・芝	1:09.0	伊藤 工真	宗像 義忠	新冠・ビッグレッドファーム
7月13日	中京②	3歳未勝利	マイネルフレスコ	牡3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	2:06.8	幸 英明	梅田 智之	新冠・コスモヴェニューファーム
北海ハンデキャップ			ラブラドライト	騾5	吉田 勝己	2600・芝	2:39.5	池添 謙一	音無 秀孝	安平・ノーザンファーム
7月13日	函館②	3歳以上1000万下								
マリーンステークス			ロイヤルクレスト	牡6	木村牧場	1700・ダート	1:43.4	古川 吉洋	鈴木 伸尋	日高・木村牧場
7月13日	函館②	3歳以上オープン								
7月19日	函館②	2歳未勝利	マイネルサクセサー	牡2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:51.0	柴山 雄一	畠山 重則	新冠・ビッグレッドファーム
7月19日	中京③	障害3歳以上未勝利	グリッターウイング	牡7	吉田 勝己	3000・芝	3:17.3	西谷 誠	友道 康夫	安平・ノーザンファーム
7月19日	函館②	3歳未勝利牝	ノースファイヤー	牝3	キャピタルクラブ	1700・ダート	1:47.2	津村 明秀	小西 一男	浦河・カナシススタッド
7月19日	福島②	3歳未勝利	キネオストレッタ	牡3	吉田 千津	1700・ダート	1:46.3	柴田 大知	木村 哲也	千歳・社台ファーム
7月19日	福島②	3歳未勝利	アビエイター	牡3	ヒダカ・フリーダーズ・ユニオン	1700・ダート	1:45.1	M.エスポジト	大竹 正博	新ひだか・広田牧場
7月19日	函館②	3歳以上500万下	ホッコーアムール	牝4	矢部 道晃	1700・ダート	1:46.5	秋山 真一	飯田 祐史	日高・川端正博
タイランドカップ			マイネノンノ	牝4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:23.3	和田 竜二	梅田 智之	千歳・社台ファーム
7月19日	中京③	3歳以上500万下牝								
横津岳特別			イントレピッド	牡4	会田 満雄	2600・芝	2:41.4	藤岡 康太	高橋 義忠	日高・森永牧場
7月19日	函館②	3歳以上500万下								
信夫山特別			マイネルサンオペラ	牡4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2600・芝	2:40.8	蛭名 正義	尾関 知人	日高・春木昭雄
7月19日	福島②	3歳以上1000万下								
マレーシアカップ			クランモンタナ	牡5	社台レースホース	2000・芝	2:05.8	浜中 俊	音無 秀孝	千歳・社台ファーム
7月19日	中京③	3歳以上1600万下								
7月19日	福島②	3歳以上500万下	ブロードスター	騾4	安原 浩司	1800・芝	1:48.4	蛭名 正義	鮫島 一步	浦河・パンブー牧場
7月20日	函館②	2歳未勝利	プラチナコード	牡2	ヒダカ・フリーダーズ・ユニオン	1200・芝	1:10.0	藤岡 康太	加用 正	浦河・岡本牧場
7月20日	函館②	3歳未勝利	モンドクラッセ	牡3	サンコウ牧場	1700・ダート	1:44.5	岩田 康誠	清水 英克	新ひだか・サンコウ牧場
7月20日	福島②	3歳未勝利牝	グランドエンジェル	牝3	グランド牧場	1700・ダート	1:46.5	武士沢 友	藤原 辰雄	新ひだか・ランド牧場
7月20日	中京③	3歳以上500万下牝	サンレーン	牝4	H.H.シェイク・モハメド	1800・ダート	1:52.6	酒井 学	西園 正都	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
北斗特別			ブレイクビーツ	騾4	吉田 照哉	1800・芝	1:49.5	秋山 真一	角田 晃一	千歳・社台ファーム
7月20日	函館②	3歳以上1600万下								
マカオJCTロフィ			ホープタウン	牡3	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:10.5	松若 風馬	西浦 勝一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
7月20日	中京③	3歳以上500万下								

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
エリモハリアーカップ											
7月20日	函館②	3歳以上1000万下	マイネルバウンス	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1700・ダート	1:45.0	丹内 祐次	伊藤 大士	日高・下河辺牧場
鶴ヶ城特別											
7月20日	福島②	3歳以上1000万下	ラビダメンテ	騾	3	社台レースホース	1150・ダート	1:07.9	蛭名 正義	池上 昌弘	日高・社台コーポレーション白老ファーム
7月26日	中京③	2歳未勝利	リンガディンドン	牡	2	吉田 正志	1200・ダート	1:12.6	福永 祐一	松元 茂樹	安平・追分ファーム
7月26日	札幌①	3歳未勝利	コロナボアリス	牡	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1000・ダート	1:00.3	小崎 綾也	西浦 勝一	浦河・富菜牧場
7月26日	福島②	3歳未勝利牝	スプレnder	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	2000・芝	2:01.4	蛭名 正義	二ノ宮 敬	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
7月26日	札幌①	3歳未勝利	ジュガンティエヤ	牡	3	日進牧場	1700・ダート	1:47.7	長岡 禎仁	杉浦 宏昭	浦河・日進牧場
7月26日	中京③	3歳未勝利牝	アンナミルト	牝	3	社台レースホース	1400・ダート	1:24.1	福永 祐一	小崎 憲	千歳・社台ファーム
7月26日	札幌①	3歳以上500万下牝	プリンセスムーン	牝	4	玉腰 勇吉	1200・芝	1:09.4	藤岡 康太	安田 隆行	浦河・三嶋牧場
7月27日	中京③	2歳未勝利	シンクウイズジョイ	牝	2	社台レースホース	1600・芝	1:39.0	小牧 太	友道 康夫	千歳・社台ファーム
7月27日	札幌①	3歳未勝利	シップウ	騾	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1700・ダート	1:46.7	大野 拓弥	伊藤 正徳	新ひだか・藤原牧場
7月27日	札幌①	3歳未勝利	アリュージョン	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:09.4	岩田 康誠	白井 寿昭	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
7月27日	中京③	3歳未勝利	プライムグローリー	牡	3	吉田 照哉	1200・ダート	1:12.2	浜中 俊	岡田 稲男	千歳・社台ファーム
7月27日	福島②	障害3歳以上未勝利	ラッキーストリーク	牡	4	藤井 謙	2770・芝	3:04.5	蓑島 靖典	小西 一男	浦河・日東牧場
メイクデビュー福島											
7月27日	福島②	2歳新馬	マイネルシュバリエ	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:52.4	柴田大知	和田 正道	新冠・ビッグレッドファーム
7月27日	福島②	3歳未勝利	イーグルアモン	牝	3	平岡 茂樹	1200・芝	1:10.4	江田 照男	谷原 義明	むかわ・平岡牧場
7月27日	福島②	3歳以上500万下	ディスクーダンス	牡	3	社台レースホース	2600・芝	2:42.4	戸崎 圭太	手塚 貴久	千歳・社台ファーム
羊ヶ丘特別											
マイネルメリエンダ 牡3 サラブレッドクラブ・ラフィアン											
7月27日 札幌① 3歳以上1000万下 1500・芝 松岡 正海 和田 正一 平取・高橋幸男 タイム:1分30秒3 (2着タガノエブプレム)											
8月2日	小倉②	3歳未勝利牝	マイネメリフィカ	牝	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:49.0	幸 英明	中村均	新冠・コスモヴェューファーム
メイクデビュー札幌											
シンフォニア 牝2 安原 浩司											
8月2日 札幌① 2歳新馬 1200・芝 四位 洋文 昆 貴 浦河・辻牧場 タイム:1分10秒2 (2着マイネルグルマン)											
8月2日	札幌①	3歳以上500万下(特指)	ゴールドアクター	牡	3	居城 要	2600・芝	2:42.5	吉田 隼人	中川 公成	新冠・北勝ファーム
8月2日	新潟②	3歳以上500万下	ユキノライダー	牡	4	遠藤 宗義	1800・ダート	1:52.1	岩田 康誠	高橋 義忠	日高・川端正博
伊万里特別											
8月2日	小倉②	3歳以上500万下	シンジュボシ	牝	4	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1200・芝	1:08.1	川田 将雅	坂口 正則	浦河・駿河牧場
閃光特別											
8月2日	新潟②	3歳以上500万下	ミラクルアイドル	牝	3	玉腰 勇吉	1000・芝	0:55.1	柴田 善臣	菊川 正達	浦河・三嶋牧場
不知火特別											
8月2日	小倉②	3歳以上1000万下	ブロードスター	騾	4	安原 浩司	1800・芝	1:47.8	川須 栄彦	鮫島 一歩	浦河・パンプー牧場
五頭連峰特別											
8月2日	新潟②	3歳以上1000万下	ダンスアミーガ	牝	3	社台レースホース	1600・芝	1:33.0	北村 宏司	中竹 和也	千歳・社台ファーム
日高特別											
ブレイクビーツ 騾4 吉田 照哉											
8月2日 札幌① 3歳以上1000万下 1800・芝 秋山 真一 角田 晃一 千歳・社台ファーム タイム:1分48秒0 (2着シャドウライフ)											
8月3日	札幌①	2歳未勝利	ペイシャオブロー	牡	2	北所 直人	1800・芝	1:52.1	丹内 祐次	菅原 泰夫	平取・二風谷ファーム
8月3日	新潟②	3歳未勝利	ファイナルブロー	牡	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1600・芝	1:35.3	宮崎 北斗	田中 剛	浦河・辻牧場
8月3日	札幌①	3歳未勝利	ピリーヴザワン	牡	3	岡田 杜史	1500・芝	1:29.4	松岡 正海	中野 栄治	新ひだか・岡田スタッド
8月3日	札幌①	3歳以上500万下	ピュアアイズ	牝	4	山際牧場	1000・ダート	0:58.7	松岡 正海	松永 康利	新ひだか・山際牧場
小樽特別											
アリュージョン 牝3 H.H. シェイク・モハメド											
8月3日 札幌① 3歳以上500万下 1200・芝 荻野 琢真 白井 寿昭 日高・ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:1分08秒3 (2着ベルモントラヒナ)											
羊蹄山特別											
コスモシャンハイ 牡5 ビッグレッドファーム											
8月3日 札幌① 3歳以上1000万下 1700・ダート 黛 弘人 尾関 知人 日高・庫宝牧場 タイム:1分45秒9 (2着ヒラボクプリンス)											
8月9日	小倉②	3歳未勝利牝	パーンアウル	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1700・ダート	1:45.2	浜中 俊	荒川 義之	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
8月9日	新潟②	障害3歳以上未勝利	ホッコーゼント	牡	5	矢部 道晃	2850・芝	3:07.1	難波 剛健	西浦 勝一	新ひだか・藤原牧場



開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
8月9日	札幌①	3歳以上500万下	ナイスゴールド	牝	5	ワイ・アール・シー	1000・ダート	0:58.8	松岡 正海	高橋 裕	日高・木村牧場
メイクデビュー札幌 フローレスダンサー 牝2 社台レースホース 8月9日 札幌① 3歳新馬 1800・芝 四位 洋文 松田 博資 千歳・社台ファーム タイム:1分52秒2 (2着シンキンググローゼス)			 								
藻岩山特別 イントレピッド 牡4 会田 満雄 8月9日 札幌① 3歳以上1000万下 2600・芝 藤岡 康太 高橋 義忠 日高・森永牧場 タイム:2分40秒2 (2着ディープストーリー)			 								
桑園特別 モンドクラッセ 牡3 サンコウ牧場 8月9日 札幌① 3歳以上500万下 1700・ダート 三浦 皇成 清水 英克 新ひだか・サンコウ牧場 タイム:1分45秒0 (2着バイタルフォルム)			 								
8月10日	小倉②	3歳未勝利	トリビューン	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1700・ダート	1:45.4	和田 竜二	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
8月10日	小倉②	3歳未勝利	ピエールドリュヌ	牝	3	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	2000・芝	2:01.3	浜中 俊	佐々 木晶	浦河・高村牧場
足立山特別 8月10日 小倉② 3歳以上500万下			マトリックスコード	牡	4	社台レースホース	1800・芝	1:49.3	幸 英明	藤原 英昭	千歳・社台ファーム
村上特別 8月10日 新潟② 3歳以上500万下			ファーゴ	牝	5	吉田 勝己	1600・芝	1:34.4	伊藤 工真	宗像 義忠	安平・ノーザンファーム
大倉山特別 リメインサイレント 牝4 社台レースホース 8月10日 札幌① 3歳以上1000万下牝 1800・芝 柴山 雄一 田中 章博 千歳・社台ファーム タイム:1分48秒7 (2着コスモスターター)			 								
指宿特別 8月10日 小倉② 3歳以上500万下			エルフショット	騾	4	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1700・ダート	1:43.0	和田 竜二	柴田 光陽	日高・横本牧場
8月16日	新潟②	2歳未勝利	コスモニンボール	牡	2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:36.6	柴田 大知	和田 雄二	新ひだか・大典牧場
8月16日	札幌①	3歳未勝利牝	ボージエスト	牝	3	吉田 勝己	1700・ダート	1:47.0	福永 祐一	友道 康夫	安平・ノーザンファーム
8月16日	新潟②	3歳未勝利	トレジャーマップ	牡	3	小林 正和	1800・芝	1:48.9	内田 博幸	石栗 龍彦	日高・出口牧場
コスモス賞 マイネルサクセサー 牡2 サラブレッドクラブ・ラフィアン 8月16日 札幌① 2歳オープン 1800・芝 柴山 雄一 島山 重則 新冠・ビッグレッドファーム タイム:1分51秒4 (2着グランカマラード)			 								
8月17日	札幌①	3歳未勝利	マッチレスヒーロー	牡	3	日進牧場	1700・ダート	1:46.5	柴山 雄一	金成 貴史	浦河・日進牧場
8月17日	札幌①	3歳未勝利	クリアパッション	牝	3	下河辺 隆行	1500・芝	1:29.7	井上 敏樹	伊藤 正徳	日高・下河辺牧場
8月17日	小倉②	3歳未勝利牝	マイネポニータ	牝	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	2:01.7	和田 竜二	田所 秀孝	新冠・コスモヴェールファーム
8月17日	札幌①	3歳以上500万下牝	サンバビーン	牝	4	岡田 隆寛	1700・ダート	1:45.4	城戸 義政	石栗 龍彦	新ひだか・岡田牧場
8月17日	札幌①	3歳以上500万下牝	シュンドルボン	牝	3	下河辺牧場	1500・芝	1:29.0	小崎 綾也	矢野 英一	日高・下河辺牧場
8月17日	札幌①	3歳以上500万下	アルテ	牡	3	フジワラ・ファーム	1800・芝	1:49.2	松田 大作	北出 成人	新ひだか・フジワラファーム
飯豊特別 8月17日 新潟② 3歳以上1000万下			フギン	牝	4	一村 哲也	1200・芝	1:09.4	岩田 康誠	森 秀行	オーストラリア産
西部日刊スポーツ杯 8月17日 小倉② 3歳以上1000万下			ホッコーサラスター	牝	3	矢部 道晃	1200・芝	1:08.3	武 幸四郎	飯田 祐史	浦河・高昭牧場
ライラック賞 マイネルディーン 牡5 サラブレッドクラブ・ラフィアン 8月17日 札幌① 3歳以上1000万下 2000・芝 三浦 皇成 鹿戸 雄一 新冠・新冠橋本牧場 タイム:2分01秒6 (2着プレミアムタイム)			 								
8月23日	新潟②	2歳未勝利	マイネルリード	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:47.8	石橋 脩	萱野 浩二	新冠・ビッグレッドファーム
8月23日	小倉②	2歳未勝利	ビジュミニオン	牝	2	社台レースホース	1800・芝	1:49.6	浜中 俊	吉村 圭司	千歳・社台ファーム
8月23日	新潟②	3歳未勝利牝	スノーレパード	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.7	木幡 初也	黒岩 陽一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
8月23日	札幌②	3歳未勝利牝	エヴォリューション	牝	3	岡田 隆寛	1700・ダート	1:46.4	城戸 義政	佐藤 正雄	新ひだか・岡田牧場
支笏湖特別 ゴールドアクター 牡3 居城 要 8月23日 札幌② 3歳以上1000万下 2600・芝 吉田 隼人 中川 公成 新冠・北勝ファーム タイム:2分44秒2 (2着ティエムダイパー)			 								

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
8月23日	新潟②	3歳未勝利	コスモナーダム	牡	3	岡田 繁幸	2200・芝	2:14.1	柴田 大知	池上 昌弘	新ひだか・出羽牧場
8月23日	札幌②	3歳未勝利	ボンセジュール	牝	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1200・芝	1:10.0	藤岡 康太	藤岡 健一	新ひだか・フジワラファーム
8月23日	札幌②	3歳以上500万下	コスモナイスガイ	牡	4	ビッグレッドファーム	2400・ダート	2:33.1	丹内 祐次	金成 貴史	新冠・ビッグレッドファーム
8月24日	札幌②	2歳未勝利	マイネルグルマン	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1500・芝	1:31.2	丹内 祐次	中野 栄治	洞爺湖・レイクヴィラファーム
8月24日	新潟②	3歳以上500万下	マリカ	牝	3	日進 牧場	1200・ダート	1:11.6	伴 啓太	本間 忍	浦河・日進牧場
8月30日	札幌②	3歳未勝利牝	デルマシズカチャン	牝	3	浅沼 廣幸	1700・ダート	1:47.9	小崎 綾也	堀井 雅広	日高・ファニーヒルファーム
8月30日	小倉②	3歳未勝利牝	カオール	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1700・ダート	1:46.4	浜中 俊	中内田 充	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
8月30日	新潟②	3歳未勝利	コスモメリー	牝	3	ビッグレッドファーム	2000・芝	2:01.2	柴田 大知	金成 貴史	新ひだか・幌村牧場

稲妻ステークス

8月30日	新潟②	3歳以上1600万下	フギン	牝	4	一村 哲也	1000・芝	0:54.4	内田 博幸	森 秀行	オーストラリア産
-------	-----	------------	-----	---	---	-------	--------	--------	-------	------	----------

積丹特別

オムニバス 牡4 H.H. シェイク・モハメド

8月30日 札幌② 3歳以上500万下 2600・芝 藤岡 康太 野中 賢二
日高・ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:2分42秒8(2着フォントロイ)



メイクデビュー札幌

タップザット 牡2 P.G. ファッジ

8月31日 札幌② 2歳新馬 1700・ダート 福永 祐一 池江 泰寿
安平・ノーザンファーム タイム:1分48秒0(2着オホーツク)



鳥栖特別

8月31日	小倉②	3歳以上500万下	コルサーレ	牡	3	社台レースホース	2000・芝	1:59.5	浜中 俊	池江 泰寿	千歳・社台ファーム
9月6日	札幌②	2歳未勝利	マイネルオフィール	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1700・ダート	1:46.7	柴田 大知	飯田 雄三	安平・ノーザンファーム
9月6日	新潟②	2歳未勝利牝	ココロノアイ	牝	2	酒井牧場	1600・芝	1:35.0	戸崎 圭太	尾関 知人	浦河・酒井牧場
9月6日	札幌②	2歳未勝利	マイネルポルトウス	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:51.1	蛭名 正義	伊藤 伸一	新ひだか・谷藤弘美
9月6日	新潟②	3歳未勝利	ヴァーノン	牡	3	日東牧場	1200・ダート	1:11.4	柴田 善臣	高橋 文雅	浦河・日東牧場
9月6日	新潟②	3歳未勝利	アースプレイ	牝	3	松山 増男	1200・芝	1:09.3	田中 勝春	宗像 義忠	浦河・ガーベラパークスタッド
9月6日	札幌②	3歳未勝利	アルティマプリンス	牡	3	社台レースホース	1200・芝	1:10.2	池添 謙一	安田 隆行	千歳・社台ファーム
9月6日	札幌②	3歳以上500万下牝	ファイトユアソング	牝	3	グラント牧場	1700・ダート	1:46.0	黛 弘人	藤原 辰雄	新ひだか・グラント牧場
9月6日	札幌②	3歳以上500万下	コーディリア	牝	5	社台レースホース	2000・芝	2:00.9	田辺 裕信	尾形 和幸	安平・追分ファーム
9月6日	新潟②	3歳以上500万下牝	ラブユー	牝	3	サンコウ牧場	1800・ダート	1:53.0	大野 拓弥	清水 英克	新ひだか・サンコウ牧場

長岡ステークス

9月6日	新潟②	3歳以上1600万下	ダンスアミーガ	牝	3	社台レースホース	1600・芝	1:32.4	吉田 豊	中竹 和也	千歳・社台ファーム
------	-----	------------	---------	---	---	----------	--------	--------	------	-------	-----------

道新スポーツ賞

プレミアムタイム 牡5 社台レースホース

9月6日 札幌② 3歳以上1000万下 2000・芝 丸山 元気 国枝 栄
安平・追分ファーム タイム:2分02秒4(2着タガノエンブレム)



9月7日	札幌②	3歳未勝利	ハッピーセーラー	牝	3	小林英一	2000・芝	2:04.1	三浦皇成	石栗龍彦	日高町・出口牧場
9月7日	新潟②	3歳未勝利	サタンズクラウン	牡	3	社台レースホース	1200・ダート	1:12.2	田辺 裕信	久保田 貴	千歳・社台ファーム
9月7日	札幌②	3歳以上500万下	タカミツズラン	牝	3	高橋 光雄	1200・芝	1:10.3	勝浦 正樹	高橋 裕	日高・新井弘幸
9月7日	札幌②	3歳以上500万下	ハヤブサベコチャン	牝	4	武田 修	1700・ダート	1:47.0	吉田 隼人	伊藤 圭三	新ひだか・グラント牧場
9月7日	新潟②	3歳以上500万下	プレミアステイタス	牝	3	社台レースホース	1800・芝	1:48.0	戸崎 圭太	大和田 成	千歳・社台ファーム
9月7日	札幌②	3歳以上500万下	ガリバルディ	牡	3	社台レースホース	1800・芝	1:50.2	福永 祐一	藤原英昭	千歳・社台ファーム

すずらん賞

ペイシャオブロー 牡2 北所 直人

9月7日 札幌② 2歳オープン 1200・芝 丹内 祐次 菅原 泰夫
平取・二風谷ファーム タイム:1分10秒8(2着ヤマカツエース)



9月7日	新潟②	3歳以上1000万下	ウィケットキーパー	牝	5	吉田 照哉	1600・芝	1:35.2	蛭名 正義	国枝 栄	千歳・社台ファーム
------	-----	------------	-----------	---	---	-------	--------	--------	-------	------	-----------

釧路湿原特別

サンバビーン 牝4 岡田 隆寛

9月7日 札幌② 3歳以上1000万下 1700・ダート 城戸 義政 石栗 龍彦
新ひだか・岡田牧場 タイム:1分45秒4(2着トメケンユークアイ)



9月13日	新潟③	2歳未勝利	チャリシー	牝	2	吉田 勝己	2000・芝	2:03.6	M. エスポジト	小西 一男	安平・ノーザンファーム
9月13日	新潟③	3歳未勝利	プロファウンド	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:12.3	井上 敏樹	伊藤 圭三	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
9月13日	新潟③	2歳500万下	コスモナインボール	牡	2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:36.5	柴田 大知	和田 雄二	新ひだか・大典牧場
9月14日	新潟③	3歳以上500万下牝	ハニーバニー	牝	4	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1200・ダート	1:11.4	横山 典弘	伊藤 圭三	新ひだか・グラント牧場

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
9月14日	新潟③	3歳以上500万下	コスモエルデスト	牝	3	ビッグレッドファーム	1400・芝	1:21.8	柴田 大知	畠山 吉宏	浦河・鳥井征士
9月20日	阪神④	2歳未勝利	デヴァスタシオン	牡	2	一村 哲也	1800・ダート	1:53.9	岩田 康誠	鮫島 一步	千歳・社台ファーム
9月20日	新潟③	3歳以上500万下牝	グリサージュ	牝	3	吉田 哲哉	1800・ダート	1:53.7	江田 照男	菊川 正達	千歳・社台ファーム
9月21日	新潟③	2歳未勝利牝	モルーア	牝	2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:35.6	柴田 大知	武井 亮	浦河・まとみ富岡牧場
9月21日	阪神④	3歳以上500万下牝	エーシンウエンディ	牝	4	栄進堂	1800・ダート	1:52.6	北村 友一	川村 禎彦	浦河・吉田ファーム
9月21日	阪神④	3歳以上500万下	エイシンハドソン	牡	3	栄進堂	2200・芝	2:14.6	和田 竜二	沖 芳夫	浦河・栄進牧場
9月21日	阪神④	3歳以上500万下	エーシンエボナ	牝	4	栄進堂	1800・ダート	1:52.4	幸 英明	沖 芳夫	アメリカ産

朝日杯セントライト記念 (GII) イスラボニータ 牡3 社台レースホース

9月21日 新潟③ 3歳オープン 2200・芝 蛭名 正義 栗田 博憲
浦河・社台コーポレーション白老ファーム タイム:2分11秒7 (2着トウザワールド)



9月27日	新潟③	3歳未勝利	ゴールドリーガル	牡	3	居城 要	1800・ダート	1:54.7	戸崎 圭太	高市 圭二	新冠・北勝ファーム
メイクデビュー阪神			エイシナリエル	牝	2	栄進堂	1200・芝	1:10.2	岩田 康誠	坂口 正則	新ひだか・木田牧場
9月27日	阪神④	2歳新馬									
9月27日	新潟③	3歳未勝利	オートクレール	牝	3	岡田 牧雄	1200・ダート	1:12.1	宮崎 北斗	高柳 瑞樹	日高・出口牧場
9月28日	阪神④	3歳未勝利	エクストレミティ	牡	3	P.G. ファッジ	1800・ダート	1:54.5	幸 英明	梅田 智之	安平・ノーザンファーム
9月28日	阪神④	3歳以上500万下牝	アンナミルト	牝	3	社台レースホース	1400・ダート	1:23.9	福永 祐一	小崎 憲	千歳・社台ファーム
ムーンライトハン			エイシヒカリ	牡	3	栄進堂	2000・芝	1:59.6	岩田 康誠	坂口 正則	新ひだか・木田牧場
9月28日	阪神④	3歳以上1600万下									

産経賞オールカマー (GII) マイネルラクリマ 牡6 サラブレッドクラブ・ラフィアン

9月28日 新潟③ 3歳以上オープン 2200・芝 戸崎 圭太 上原 博之
新ひだか・武牧場 タイム:2分12秒2 (2着ラキシス)



10月4日	新潟③	2歳未勝利	マイネルネット	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・ダート	1:55.0	嘉藤 貴行	斎藤 誠	新冠・赤石久夫
10月4日	新潟③	2歳未勝利	ウィズアットレース	牝	2	岡田 牧雄	1200・芝	1:09.7	原田 和真	池上 昌弘	新冠・ラツキー牧場
10月4日	阪神④	3歳未勝利	ムントラベラー	牝	3	吉田 勝己	1400・ダート	1:25.3	池添 謙一	宮本 博	安平・ノーザンファーム
10月4日	新潟③	3歳以上500万下牝	ブルーボサノヴァ	牝	3	ブルーマネジメント	1800・ダート	1:52.1	丸田 恭介	和田 雄二	新冠・川上牧場
古町特別			コーディア	牝	5	社台レースホース	1800・芝	1:47.8	石川 裕紀	尾形 和幸	安平・追分ファーム
10月4日	新潟③	3歳以上1000万下									
秋風ステークス			マイネルメリエンダ	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1600・芝	1:34.0	柴田 大知	和田 正一	平取・高橋幸男
10月4日	新潟③	3歳以上1600万下									
10月4日	新潟③	3歳以上500万下	ヴァーノン	牡	3	日東牧場	1200・ダート	1:12.1	藤岡 佑介	高橋 文雅	浦河・日東牧場
10月5日	新潟③	3歳未勝利	キネオイーグル	牡	3	吉田 千津	1800・ダート	1:53.4	岩田 康誠	高柳 瑞樹	栃木・恵比寿興業株式会社那須野牧場
メイクデビュー阪神			ユキノカトレア	牝	2	遠藤 宗義	1400・芝	1:23.0	四位 洋文	坂口 正則	日高・川端正博
10月5日	阪神④	2歳新馬									
10月5日	阪神④	3歳以上500万下	セウアズール	牝	3	吉田 照哉	1800・芝	1:45.5	菱田 裕二	松田 博資	千歳・社台ファーム
ポートアイランドステークス			オリーピン	牡	5	吉田 照哉	1600・芝	1:33.9	菱田 裕二	橋口 弘次	千歳・社台ファーム
10月5日	阪神④	3歳以上オープン									

スプリンターズステークス (GI) スノードラゴン 牡6 岡田 牧雄

10月5日 新潟③ 3歳以上オープン 1200・芝
大野 拓弥 高木 登 新冠・イワミ牧場
タイム:1分08秒8 (2着ストレイトガール)



10月11日	京都④	3歳以上500万下	ケッキセヨ	牡	4	一村 哲也	1400・ダート	1:23.6	松若 風馬	岡田 稲男	平取・中田牧場
大原ステークス			デウスウルト	騾	6	吉田 勝己	2000・芝	1:58.2	武 豊	平田 修	安平・ノーザンファーム
10月11日	京都④	3歳以上1600万下									
10月12日	東京④	3歳以上500万下	ビッグギブ	牡	3	吉田 照哉	1600・ダート	1:37.9	横山 典弘	菊沢 隆徳	千歳・社台ファーム
りんどう賞			コートシャルマン	牝	2	社台レースホース	1400・芝	1:21.3	福永 祐一	松永 幹夫	千歳・社台ファーム
10月12日	京都④	2歳500万下牝									
清滝特別			アルパタックス	牡	4	社台レースホース	1800・芝	1:45.8	岩田 康誠	石坂 正	千歳・社台ファーム
10月12日	京都④	3歳以上1000万下									
10月13日	東京④	2歳未勝利牝	メジャーフォルム	牝	2	社台レースホース	1400・ダート	1:26.5	江田 照男	大江 原哲	千歳・社台ファーム
10月13日	東京④	3歳以上500万下	ジョージジョージ	牡	4	北所 直人	1300・ダート	1:19.9	田中 勝春	高橋 義博	新ひだか・飯岡牧場
レジェンドトレーナーズカップ			フェデラルホール	牡	5	吉田 勝己	2400・芝	2:25.2	蛭名 正義	中川 公成	安平・ノーザンファーム
10月13日	東京④	3歳以上1000万下									
10月14日	京都④	3歳以上500万下牝	ティップトップ	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.0	藤岡 康太	千田 輝彦	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
10月18日	福島③	3歳以上500万下牝	ニーレンベルギア	牝	5	吉田 照哉	1700・ダート	1:46.8	松田 大作	西園 正都	千歳・社台ファーム
プラタナス賞											
10月18日	東京④	2歳500万下	タップザット	牡	2	P.G. ファッジ	1600・ダート	1:39.5	福永 祐一	池江 泰寿	安平・ノーザンファーム
鳴子特別											
10月18日	福島③	3歳以上500万下	コスモラヴモア	牡	3	ビッグレッドファーム	1700・ダート	1:46.8	丹内 祐次	鈴木 伸尋	浦河・村下牧場
10月19日	東京④	2歳未勝利	エミネスク	牡	2	社台レースホース	1800・芝	1:48.9	田中 勝春	牧 光二	千歳・社台ファーム
10月19日	福島③	障害3歳以上未勝利	ルペールノエル	牡	4	ヒガカ・フリーダース・エニオン	2750・芝	3:01.7	白浜 雄造	藤原 英昭	新ひだか・大典牧場
メイクデビュー京都											
10月19日	京都④	2歳新馬	エイシンライダー	牡	2	栄進堂	1800・芝	1:49.0	和田 竜二	沖 芳夫	浦河・栄進牧場
アイルランドトロフィー											
10月19日	東京④	3歳以上オープン	エイシンヒカリ	牡	3	栄進堂	2000・芝	1:58.3	横山 典弘	坂口 正則	新ひだか・木田牧場
アイビスステークス											
10月25日	東京④	2歳オープン	コスモナインボール	牡	2	ビッグレッドファーム	1800・芝	1:47.1	柴田 大知	和田 雄二	新ひだか町・大典牧場
10月26日	京都④	2歳未勝利牝	ニューエディション	牝	2	H.H. シェイク・モハメド	1400・芝	1:21.6	福永 祐一	藤原 英昭	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
10月26日	京都④	2歳未勝利	アッシュゴールド	牡	2	社台レースホース	1600・芝	1:34.1	池添 謙一	池江 泰寿	白老町・社台コーポレーション白老ファーム
10月26日	福島③	3歳以上500万下	マイネルガネーシャ	牡	6	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1700・ダート	1:46.4	丹内 祐次	島山 重則	日高町・今井牧場
ブラジルカップ											
10月26日	東京④	3歳以上オープン	マイネルバイカ	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2100・ダート	2:12.0	北村 宏司	白井 寿昭	新ひだか町・乾皆雄
小峰城特別											
10月26日	福島③	3歳以上500万下	ヴァンセンヌ	牡	5	社台レースホース	1800・芝	1:46.6	小崎 綾也	松永 幹夫	社台コーポレーション白老ファーム
11月1日	京都④	2歳未勝利	ラホーヤビーチ	牝	2	ヒガカ・フリーダース・エニオン	1400・芝	1:22.1	森 一馬	松永 昌博	新ひだか町・藤原牧場
11月1日	京都④	3歳以上500万下	コスモグラウベ	牡	3	ビッグレッドファーム	1200・芝	1:09.0	ブドー	西園 正都	アメリカ産
萩ステークス											
11月1日	京都④	2歳オープン	エイシンライダー	牡	2	栄進堂	1800・芝	1:47.6	ブドー	沖 芳夫	浦河町・栄進牧場
紅葉ステークス											
11月1日	東京④	3歳以上1600万下	パワースポット	牝	6	ブランド牧場	1600・芝	1:33.6	大野 拓弥	菊沢 隆徳	新ひだか町 ブランド牧場
アルテミスステーク (GⅢ)											
ココロノアイ 牝2 酒井牧場											
11月1日 東京④ 2歳オープン 牝 1600・芝 横山 典弘 尾関 知人 浦河町・酒井牧場 タイム:1分34秒4 (2着レッツゴードンキ)											
											
須賀川特別											
11月1日	福島③	3歳以上500万下	サンキストロード	牡	4	社台レースホース	1200・芝	1:09.1	古川 吉洋	宮 徹	日高町・社台ファーム
11月2日	東京④	2歳未勝利牝	スカーボロフェア	牝	2	H.H. シェイク・モハメド	1600・ダート	1:38.8	松岡 正海	手塚 貴久	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
11月2日	福島③	障害3歳以上未勝利	マキオボーラー	牡	4	猪野毛 雅人	2770・芝	3:00.3	平沢 健治	五十嵐 忠	浦河町・馬道繁樹
メイクデビュー京都											
11月2日	京都④	2歳新馬	ロカ	牝	2	吉田 勝己	1800・芝	1:50.4	和田 竜二	今野 貞一	安平町・ノーザンファーム
11月2日	京都④	2歳500万下	ユキノカトリア	牝	2	遠藤 宗義	1400・芝	1:21.2	太宰 啓介	坂口 正則	日高町・川端正博
11月2日	東京④	3歳以上500万下	ノウレッジ	牡	4	H.H. シェイク・モハメド	1300・ダート	1:18.1	蛭名 正義	二ノ宮 敬	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
国立特別											
11月2日	東京④	3歳以上1000万下	ピークトラム	牡	3	吉田 照哉	1400・芝	1:21.2	横山 典弘	橋口 弘次	千歳市・社台ファーム

JRA土川健之理事長、河原太一場長に要望書を提出

札幌馬主協会は、冷涼な北海道で開催される夏の避暑地競馬の充実を図り、中央競馬を一層発展させるため、JRA日本中央競馬会土川健之理事長と河原太一場長に札幌競馬場

の有効利用を訴える要望書を提出した。

下河辺俊行会長は「2年ぶりの札幌開催が全国の競馬ファンから注目を集めています。また、今回の札幌競馬場改築につきま

しては、馬主の立場から種々要望をさせていただいたところであり、新スタンドはこれまで以上に競馬の魅力を発信できる舞台となるものと確信しております」と以下2点を要望した。

要望事項

冷涼な北海道で開催される夏の避暑地競馬の充実を図っていただきたい。

1. 札幌競馬開催日数の拡大

○開催日数を現行の「2開催14日間」から「2開催16日間」に戻し、北海道シリーズを充実していただきたい

2. 馬産地北海道に位置する札幌競馬場の有効利用としてのセリ市場開催と併せて最高峰のグレード競走G Iを開催していただきたい

○「札幌記念」をG Iに昇格していただきたい

○札幌競馬場のセリ機能の有効活用

- ・トレーニングセール継続的開催
- ・新たに札幌競馬開催期間中にセリ（1歳）市場を開催していただきたい

平成26年8月30日

一般社団法人札幌馬主協会

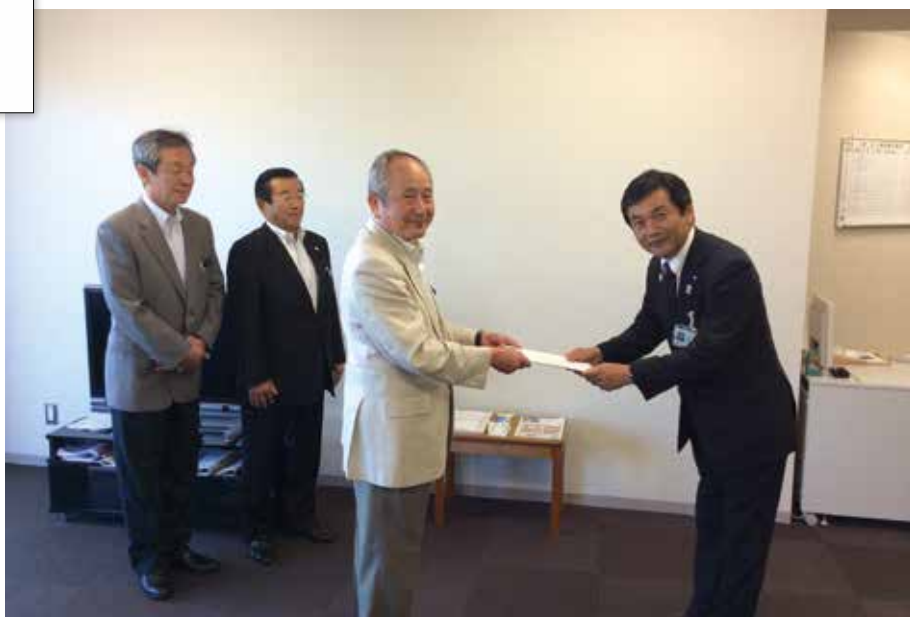
会長 下河辺 俊行

日本中央競馬会
理事長 土川 健之 様

札幌競馬の発展に関する

要 望 書

一般社団法人札幌馬主協会



「北海道シリーズの充実」「札幌記念のG I昇格」「開催期間中における札幌競馬場での1歳市場の開催」を訴える下河辺俊行会長。意欲は、しっかりと河原太一場長に手渡された。

退会者・入会者

おくやみ

次の方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。



(有)賀張中川牧場
中川重光氏 (79)
平成26年9月15日逝去
(沙流郡日高町)

入会者

次の方々にご入会いただきました。



佐藤陽一氏
旭川市



(株)栄進堂
平井宏承氏
沙流郡日高町



(株)ラ・メール
矢倉母氏
大阪府泉佐野市



(有)桑田牧場
桑田美智代氏
浦河郡浦河町



合同会社小林英一
ホールディングス
小林英一氏
札幌市中央区



小林康徳氏
東京都墨田区

代表者変更



(有)賀張中川牧場
中川浩典氏
沙流郡日高町

退会者

次の方が退会されました。在籍中のご協力に感謝いたします。

小林英一氏
田湯喜義氏

◆編集後記

- 「北の蹄跡」と題号を改めてから第2号をお届けいたします。
2年ぶりの札幌競馬は、初日から大勢のお客様でにぎわい、全開催を通して新・札幌競馬場は大変な盛り上がりとなりました。表紙写真でその一端をご覧ください。
今号では今年の札幌開催を振り返るとともに、会員ご愛馬の活躍ぶりなどをお伝えします。
- 日本中央競馬会の後藤正幸新理事長には、本誌に寄せて就任のご挨拶をいただきました。また、9月に札幌競馬場長が異動されましたので、植田克己新場長にご挨拶をいただきました。心よりお礼を申し上げます。
- 会員勝馬の紹介は、本誌「北の蹄跡」となってから重賞競走の写真も組み入れてコンパクトにまとめております。「函館・札幌」の北海道シリーズでは、札幌競馬場で行なわれた「新馬戦」及び「特別レース」以上で写真を掲載することといたしました。
- 総務・広報委員会では、会員の皆様に親しまれる会報づくりに引き続き努めてまいりますので、要望やご意見をお寄せいただくなどご協力をお願いいたします。

総務・広報委員会 委員長 谷川利昭
副委員長 伊藤佳幸
委員 三好吉男
木村 貢
小林正和

◆事務局から

- 新スタンド4階の馬主エリアは、当協会と全国9単協の馬主・ご同伴者で大変にぎわいました。馬主席数を超えるお申込みで、通行章でお入りいただいた方も大勢いらっしゃいました。ご協力ありがとうございました。
- 馬主エリアでのピュッフェ方式による事前申込制のお食事は、初めての取り組みでした。今後の改善点はありますが、これもご来場くださった皆様のおかげで何とか無事終わることが出来て、事務局一同「ホッと」いたしました。
- 協会行事やいろいろなお知らせについて、ご不明な点、ご意見などはお気軽に事務局へお寄せください。

(佐藤、嶋田、水上、日村)

「北の蹄跡」(通巻第55号)

2014年12月12日発行

発行：一般社団法人 札幌馬主協会

編集発行人：下河辺俊行

〒060-0016

札幌市中央区北16条西16丁目1-1

TEL 011 (726) 0461

企画・編集：(株)道新スポーツ 馬事通信編集室

編集協力：源草社

デザイン：Den Design

印刷：株式会社上野印刷所

表紙・札幌競馬場写真：©日本中央競馬会

本誌掲載の写真および記事等の無断掲載を禁じます。

札幌馬主協会

「北の蹄跡」(通巻第55号)

平成26年12月12日発行

編集発行人 下河辺俊行

一般社団法人札幌馬主協会

〒060-0016

札幌市中央区北16条西16丁目1-1

TEL 011(726)0461

